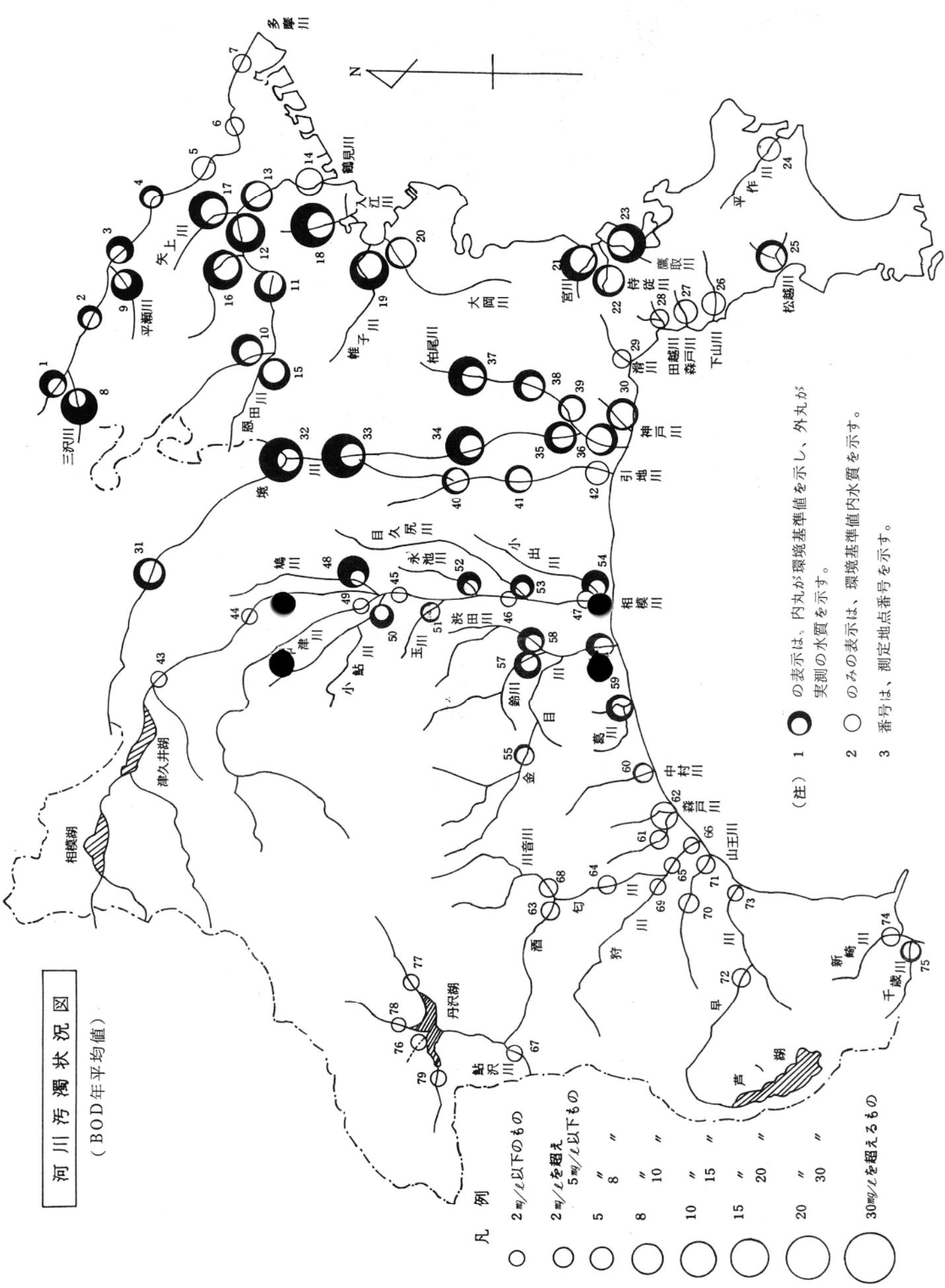


昭和 56 年度

公共用水域水質測定結果

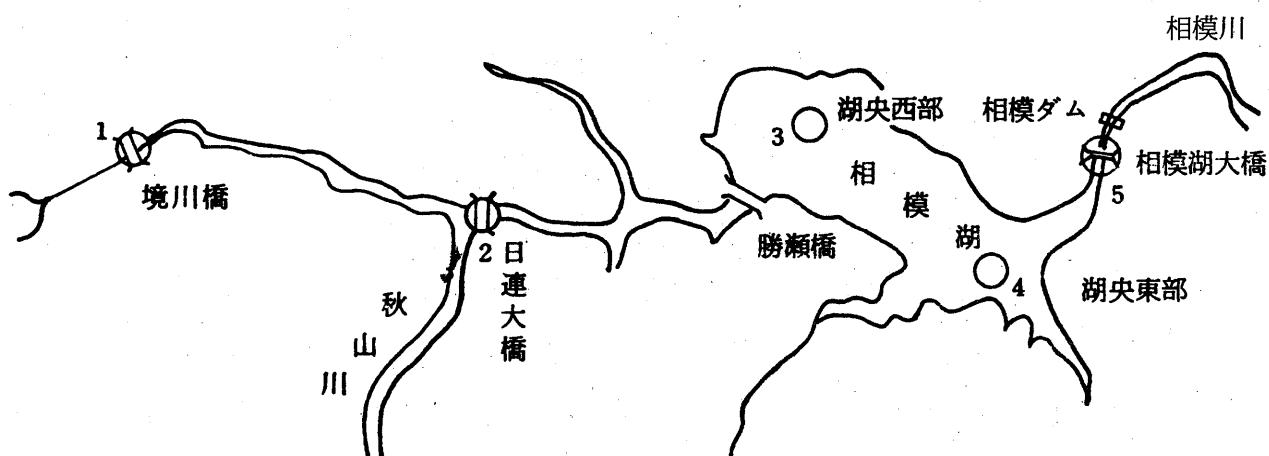
神奈川県・横浜市・川崎市

横須賀市・藤沢市・相模原市



相模湖汚濁状況図

(BOD年平均値)

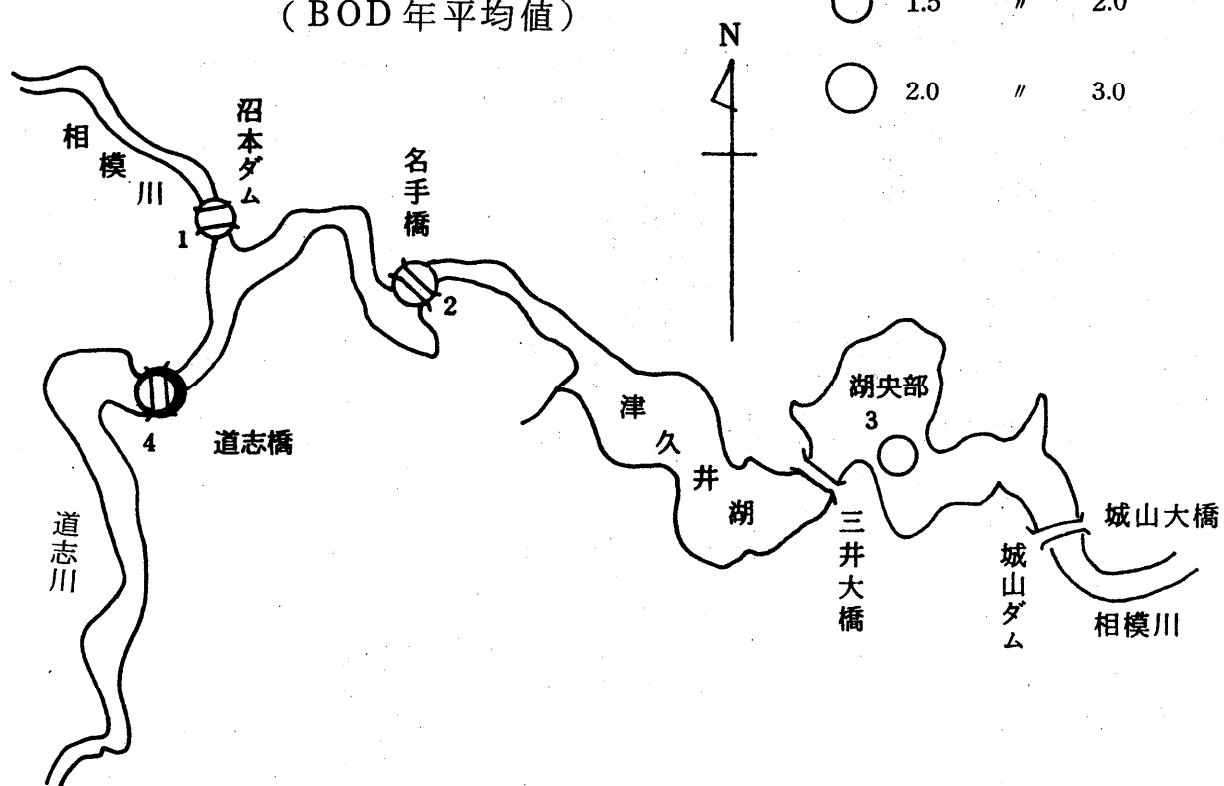


凡例

- 1 mg/l 以下のもの
- 1 mg/l を超え 1.5 mg/l 以下のもの
- 1.5 " 2.0 "
- 2.0 " 3.0 "

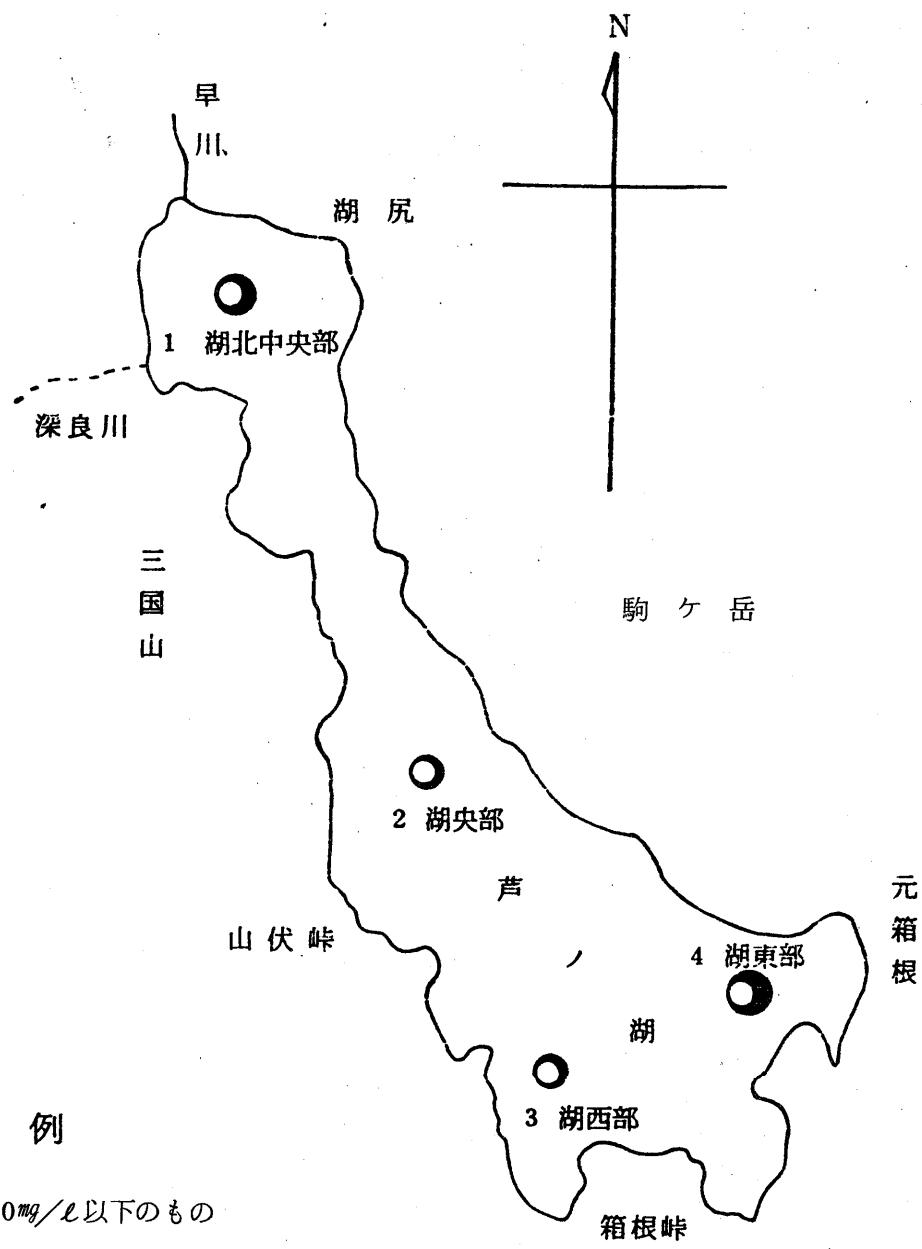
津久井湖汚濁状況図

(BOD年平均値)



芦ノ湖汚濁状況図

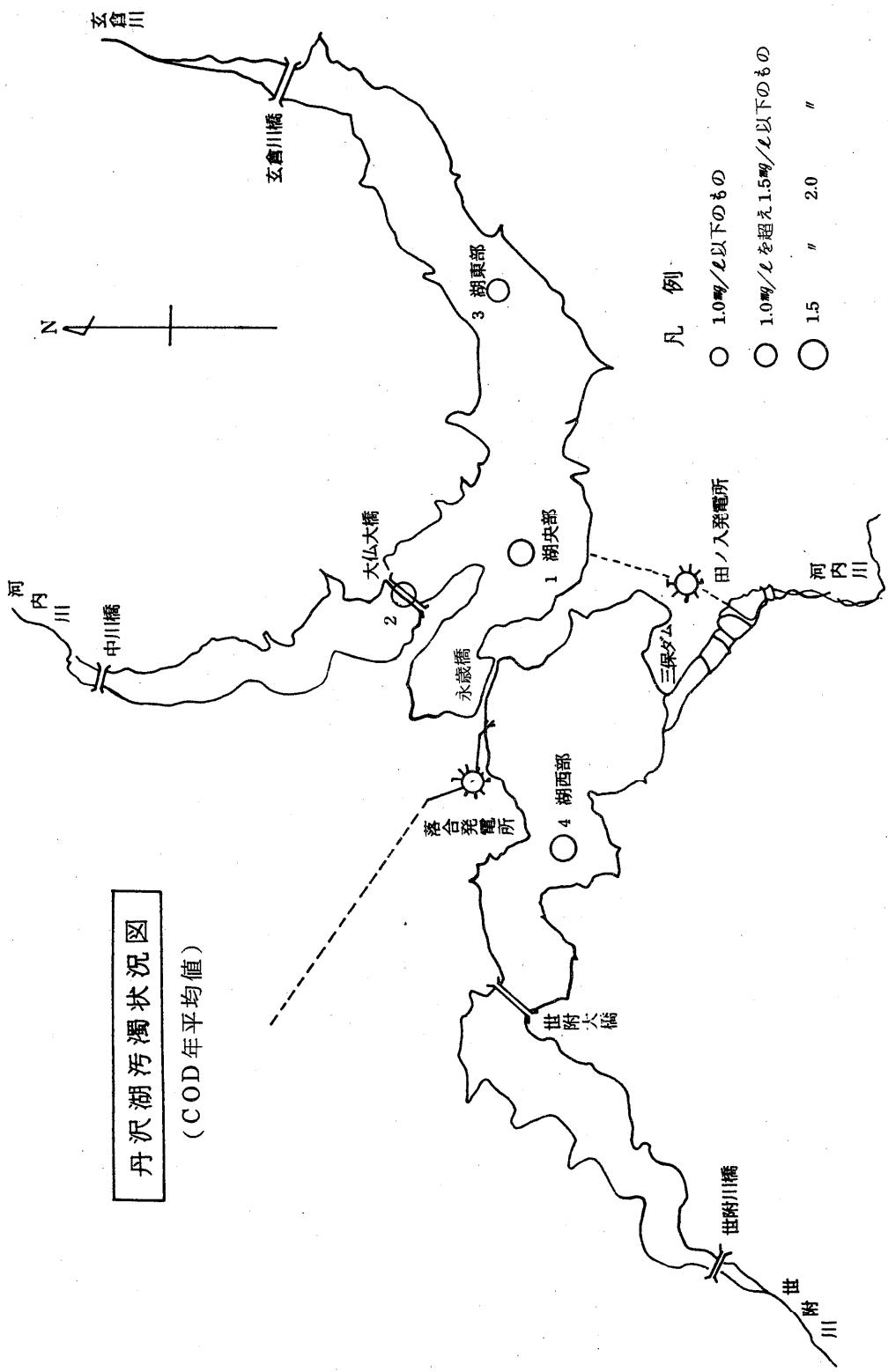
(COD年平均値)



凡例

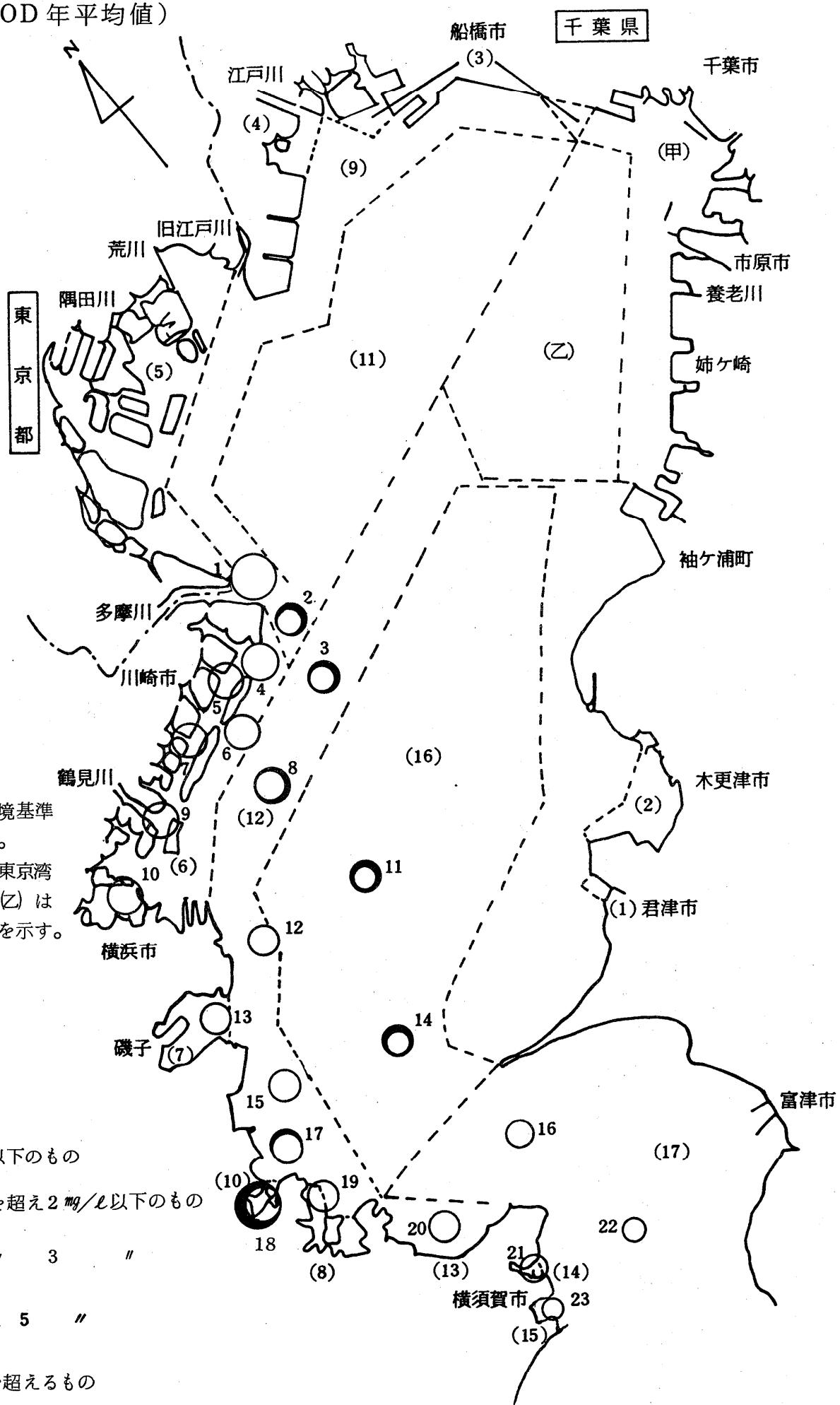
- 1.0mg/l以下のもの
- 1.0mg/lを超え 1.5mg/l以下のもの
- 1.5 " 2.0 "

丹沢湖汚濁状況図
(COD年平均値)



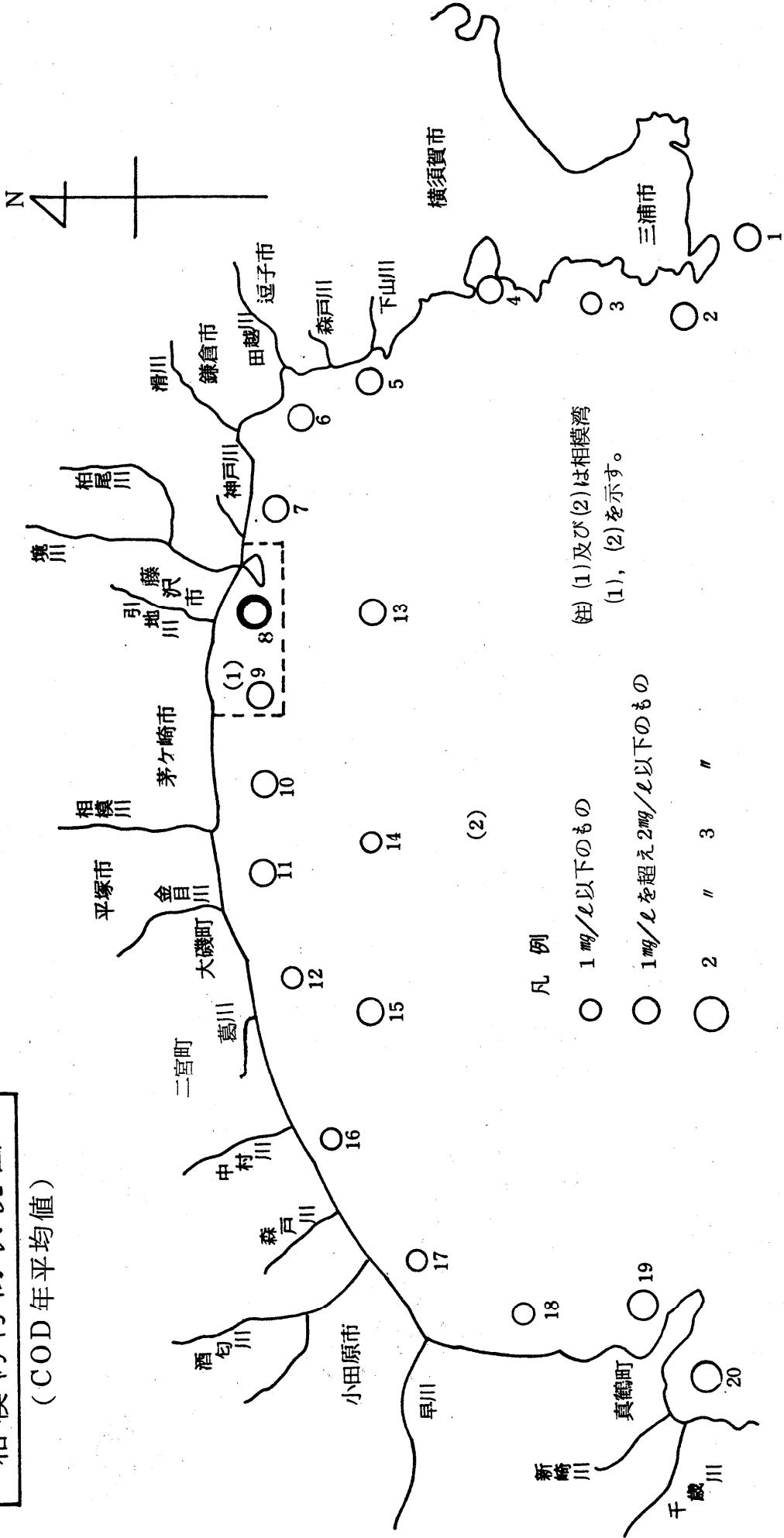
東京湾汚濁状況図

(COD年平均値)



相模湾汚濁状況図

(COD年平均値)



凡例

○ $1\text{mg}/\ell$ 以下のもの

○ $1\text{mg}/\ell$ を超えて $2\text{mg}/\ell$ 以下のもの

(注) (1)及び(2)は相模湾

(1), (2)を示す。

目 次

1 测定水域及び測定地点	1
2 测 定 期 間	1
3 测 定 頻 度	1
4 分析方法及び分析項目	1
5 県内公共用水域の概況	1
(1) 河 川	1
(2) 湖 沼	3
ア 相 模 湖	3
イ 津久井湖	3
ウ 芦 ノ 湖	3
エ 丹 泽 湖	3
(3) 海 域	4
ア 東 京 湾	4
イ 相 模 湾	4
6 測定結果の概要	4
(1) 河 川	4
(2) 湖 沼	4
ア 相 模 湖	4
イ 津久井湖	5
ウ 芦 ノ 湖	5
エ 丹 泽 湖	5
(3) 海 域	6
ア 東 京 湾	6
イ 相 模 湾	6
7 測定結果の考察	6
(1) 河 川	6
(2) 湖 沼	8
ア 相 模 湖	9
イ 津久井湖	9
ウ 芦 ノ 湖	9
エ 丹 泽 湖	9

(3) 海域	9
ア 東京湾	9
イ 相模湾	10

図1 多摩川におけるBOD縦断変化図	11
図2 鶴見川におけるBOD縦断変化図	12
図3 境川におけるBOD縦断変化図	13
図4 相模川におけるBOD縦断変化図	14
図5 酒匂川におけるBOD縦断変化図	15
図6 河川の主要地点における水質経年変化	16
図7 相模湖、津久井湖及び芦ノ湖の主要地点における水質経年変化	17
図8 東京湾の主要地点における水質経年変化	18
図9 湖沼及び海域における透明度の経年変化	19
図10 湖沼及び海域におけるCOD(上層、下層)の経年変化	20
図11 湖沼及び海域における総窒素の経年変化	21
図12 湖沼及び海域におけるリン酸態リンの経年変化	21

表1 各測定地点におけるBOD(COD)年平均値経年変化	22
表2 各測定地点におけるBOD(COD)75%値経年変化	28
表3 生活環境項目類型別総括表	34
表4 生活環境項目の環境基準値を超えた割合	36
表5 健康項目の環境基準値を超えた割合	38
表6 BOD(COD)の環境基準達成状況	40

公共用水域水質測定結果	43
-------------	----

参考資料

1 水質汚濁に係る環境基準について(抜粋)	182
2 県内公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型	189
3 県内河川の概要	191
4 県内湖沼の概要	193

目 次

1 测定水域及び測定地点	1
2 測 定 期 間	1
3 測 定 頻 度	1
4 分析方法及び分析項目	1
5 県内公共用水域の概況	1
(1) 河 川	1
(2) 湖 沼	3
ア 相 模 湖	3
イ 津久井湖	3
ウ 芦 ノ 湖	3
エ 丹 泽 湖	3
(3) 海 域	4
ア 東 京 湾	4
イ 相 模 湾	4
6 測定結果の概要	4
(1) 河 川	4
(2) 湖 沼	4
ア 相 模 湖	4
イ 津久井湖	5
ウ 芦 ノ 湖	5
エ 丹 泽 湖	5
(3) 海 域	6
ア 東 京 湾	6
イ 相 模 湾	6
7 測定結果の考察	6
(1) 河 川	6
(2) 湖 沼	8
ア 相 模 湖	9
イ 津久井湖	9
ウ 芦 ノ 湖	9
エ 丹 泽 湖	9

(3) 海域	9
ア 東京湾	9
イ 相模湾	10

図1 多摩川におけるBOD縦断変化図	11
図2 鶴見川におけるBOD縦断変化図	12
図3 境川におけるBOD縦断変化図	13
図4 相模川におけるBOD縦断変化図	14
図5 酒匂川におけるBOD縦断変化図	15
図6 河川の主要地点における水質経年変化	16
図7 相模湖、津久井湖及び芦ノ湖の主要地点における水質経年変化	17
図8 東京湾の主要地点における水質経年変化	18
図9 湖沼及び海域における透明度の経年変化	19
図10 湖沼及び海域におけるCOD(上層、下層)の経年変化	20
図11 湖沼及び海域における総窒素の経年変化	21
図12 湖沼及び海域におけるリン酸態リンの経年変化	21

表1 各測定地点におけるBOD(COD)年平均値経年変化	22
表2 各測定地点におけるBOD(COD)75%値経年変化	28
表3 生活環境項目類型別総括表	34
表4 生活環境項目の環境基準値を超えた割合	36
表5 健康項目の環境基準値を超えた割合	38
表6 BOD(COD)の環境基準達成状況	40

公共用水域水質測定結果	43
-------------	----

参考資料

1 水質汚濁に係る環境基準について(抜粋)	182
2 県内公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型	189
3 県内河川の概要	191
4 県内湖沼の概要	193

神奈川県は、水質汚濁防止法第16条の規定に基づき、昭和56年度の測定計画を作成し、建設省、横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市及び相模原市と共同で、公共用水域の水質測定を実施した。その結果は、次のとおりである。

1 測定水域及び測定地点

測定水域	33 水域
測定地点	139 地点
河 川	79 地点
湖 沼	17 "
海 域	43 "

2 測定期間

測定期間は、昭和56年4月から昭和57年3月までである。

3 測定頻度

測定頻度は、原則として次のとおりである。

河 川	毎月、1日6時間間隔で4回
湖 沼	毎月、1日1回2層
海 域	

4 分析方法及び分析項目

分析方法は、環境基準及び排水基準に定められた方法等によった。

分析項目は、原則として毎月、環境基準の健康項目（河川及び海域それぞれ6項目、湖沼1項目）、生活環境項目（河川、湖沼及び海域それぞれ5項目）及び環境基準以外の項目（河川16項目、湖沼11項目及び海域9項目）について分析した。

なお、8月及び2月には、上記の項目以外の健康項目（河川及び海域3項目、湖沼8項目）及び環境基準以外の項目（河川2項目、湖沼8項目、海域7項目）についても分析した。

5 県内公共用水域の概況

(1) 河 川

本県の河川は、地勢上小河川が多いが、1級河川として、多摩川、鶴見川及び相模川があり、2級河川として酒匂川、境川の他21の河川がある。相模川から西側の河川は、丹沢、箱

根等の山岳部を水源とする急流の河川が多く、東側の河川は、緩やかな流れの川が多くなっている。

本県は、首都に隣接し、交通が便利であることなどもあって、早くから京浜工業地帯などの工場群を抱えている。更に近年では、県内奥深くまで開発が進み、自然環境の改変が著しい。こうした社会的、経済的事情は、当然のことながら河川環境に大きな影響を与えていている。

ア 多 摩 川

多摩川は、山梨県北東部の笠取山にその源を発し、奥多摩湖で数多くの支川を集めて関東山地を東に流れ、秋川、浅川などの支川を合わせ、神奈川県と東京都の境を流下し、東京湾に注いでいる。

多摩川の本川の水は、上流では東京都西多摩郡羽村堰で都の上水道用として取水され、中流から下流にかけては、支川からの水がほとんどである。県内では三沢川、平瀬川等が本川に流入している。

イ 鶴 見 川

鶴見川は、東京都町田市の丘陵部にその源を発し、恩田川、矢上川等の支川を集めながら緩やかに流れ、横浜市鶴見区で東京湾に注いでいる。流域は、都市化が進んでおり、特に、中流部から河口にかけては工場も多く、人口も密集している。

ウ 帷 子 川

帷子川は、横浜市旭区上川井町地先にその源を発し、市の中央部を東に流れ、横浜駅付近を経て、数本の運河に分かれて東京湾に注いでいる。

エ 平 作 川

平作川は、三浦半島中央に位置する大楠山付近にその源を発し、横須賀市の中央部を縦断し、途中多くの雨水幹線を集め久里浜港に注いでいる。

オ 境 川

境川は、城山湖付近にその源を発し、都県境を南東に流れ、町田市南端から県内に入り、更に南に流れ藤沢市で柏尾川を合わせて相模湾に注いでいる。流域は、相模原市、横浜市、藤沢市等の都市化の著しい区域を抱えている。

カ 引 地 川

引地川は、大和市上草柳の湧水にその源を発し、途中蓼川を合わせて南に流れ、藤沢市鵠沼海岸で相模湾に注いでいる。小田急江ノ島線が流域東部を河川と並行に走っていること等により沿川全域にわたって都市化が進んでいる。

キ 相 模 川

相模川は、富士山麓にその源を発し、山梨県内で数々の支川を集め甲州街道に沿って流

下する。県境の境橋で桂川から相模川と名を変え、相模湖、津久井湖を経て、途中中津川等の支川を合わせて相模平野を緩やかに流れ相模湾に注いでいる。相模川の水は、県民の最も重要な飲料水源となっている。

ク 金 目 川

金目川は、丹沢山塊の南東部にその源を発し、秦野市内で葛葉川、水無川、室川を合わせて東に流れ、更に平塚市で渋田川等を合わせて相模湾に注いでいる。流域は、人口増加が著しく都市化の波が押し寄せている。

ケ 酒 勾 川

酒勾川は、富士山東麓にその源を発し、途中河内川、川音川、狩川などの支川を合わせて本県西部を南に流れ、小田原市内で相模湾に注いでいる。小田原市飯泉堰から取水される水は、県民の重要な飲料水源となっている。

コ 早 川

早川は、芦ノ湖にその源を発し、深い谷を南東に流れ、湯本で支川の須雲川を合わせて小田原市早川口で相模湾に注いでいる。流域は、上流部の仙石原を除き平地に乏しいが、川沿いに温泉旅館が点在している。

(2) 湖 沼

ア 相 模 湖

相模湖は、昭和22年に完成した相模ダムによって相模川が堰き止められてできた人造湖である。湖周辺には、藤野町、相模湖町の集落が河岸段丘上に位置し、ダム近くには観光施設が集っており、行楽シーズンには多くの観光客が訪れている。

イ 津 久 井 湖

津久井湖は、昭和40年に完成した城山ダムによって相模湖からの流出水が堰き止められてできた人造湖であり、湖周辺には、津久井町等の集落が形成されている。津久井湖では城山湖（本沢調整池）を上池として揚水発電が行われている。

ウ 芦 ノ 湖

芦ノ湖は、箱根火山により誕生した風光明媚な天然湖であり、その水は、大部分が湖底からの湧き水である。湖畔には、毎年多くの観光客が訪れており、旅館等の観光施設が点在している。

エ 丹 沢 湖

丹沢湖は、昭和53年に完成した三保ダムによって酒勾川の支川の河内川が堰き止められてできた人造湖である。湖周辺及び流入河川（玄倉川、河内川、世附川）流域の人口は少ないが、丹沢湖を訪れる観光客は徐々に増加している。

(3) 海域

ア 東京湾

東京湾は、房総半島と三浦半島に囲まれ浦賀水道で太平洋につながる、湾口の狭い閉鎖性水域である。その臨海部は、大工業地帯として発達しており、また、内陸部においても多くの人口を抱え活発な経済活動が営まれている。東京湾の海岸をみると川崎から横浜の金沢に至る地域は、工業用地造成のため埋め立てが進み、人工的な海岸に変貌しており、自然海岸は三浦半島に行かなければみられない。

イ 相模湾

相模湾は、太平洋に面した開放型の湾で、その沖合には黒潮が流れしており、定置網漁業、わかめ養殖等の沿岸漁業が行われている。また、海岸は、変化に富み数多くの景勝地があり、海水浴場などの観光地として利用されている。

6 測定結果の概要

注 () 内の数値は、前年度の割合を示す。

(1) 河川

ア 健康項目

健康項目は、79地点、延11,108検体について測定した。この結果、多摩川支川の平瀬川で鉛が2検体、横浜市内の入江川でシアンが1検体環境基準を超えて検出された。

その他の項目は、すべて環境基準に適合していた。

イ 生活環境項目

生活環境項目は、79地点、延20,078検体について測定した。このうち環境基準が定められているものは、延15,462検体で、環境基準値を超えたものは、延3,211検体、不適合率は20.8% (19.2%) である。

項目別の不適合率は、pH 0.6% (0.9%)、BOD 49.5% (46.7%)、SS 5.6% (4.3%) DO 10.6% (10.7%) 及び大腸菌群数 87.6% (78.7%) となっている。

(2) 湖沼

ア 相模湖

(ア) 健康項目

健康項目は、5地点、延140検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生活環境項目

生活環境項目は、5地点、延420検体について測定した。このうち環境基準が定めら

れているものは、延300検体で、環境基準値を超えたものは55検体、不適合率は18.3%（15.0%）である。

項目別の不適合率は、pH 11.7%（3.3%）、BOD 25.0%（15.0%）、SS 0%（5.0%）、DO 11.7%（3.3%）及び大腸菌群数 43.3%（48.3%）となっている。

イ 津久井湖

（ア） 健康項目

健康項目は、4地点、延101検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

（イ） 生活環境項目

生活環境項目は、4地点、延315検体について測定した。このうち環境基準が定められているものは、延225検体で、環境基準値を超えたものは32検体、不適合率は14.2%（10.4%）である。

項目別の不適合率は、pH 15.6%（6.3%）、BOD 24.4%（16.7%）、SS 8.9%（0%）、DO 4.4%（2.1%）及び大腸菌群数 17.8%（27.1%）となっている。

ウ 芦ノ湖

（ア） 健康項目

健康項目は、4地点、延112検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

（イ） 生活環境項目

生活環境項目は、4地点、延336検体について測定した。このうち環境基準が定められているものは、延240検体で、環境基準値を超えたものは延113検体、不適合率は、47.1%（49.2%）である。

項目別の不適合率は、pH 2.1%（0%）、COD 91.7%（81.3%）、SS 52.1%（50.0%）、DO 25.0%（39.6%）及び大腸菌群数 64.6%（75.0%）となっている。

エ 丹沢湖

（ア） 健康項目

健康項目は、4地点、延112検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

（イ） 生活環境項目

生活環境項目は、4地点、延336検体について測定した。このうち環境基準が定められているものは、延240検体で、環境基準値を超えたものは延17検体、不適合率は7.1%（2.1%）である。

項目別の不適合率は、COD 4.2% (2.1%)、SS 22.9% (4.2%)、DO 6.3% (4.2%)、大腸菌群数 2.1% (0%) となっているが、pH はすべて環境基準に適合していた。

(3) 海域

ア 東京湾

(ア) 健康項目

健康項目は、23地点、延 1,794 検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生活環境項目

生活環境項目は、23地点、延 1,380 検体について測定した。このうち環境基準が定められているものは、延 1,044 検体で、環境基準値を超えたものは延 196 検体、不適合率は 18.8% (18.0%) である。

項目別の不適合率は、pH 31.2% (33.7%)、COD 28.3% (22.1%)、DO 6.2% (5.1%)、大腸菌群数 6.3% (2.1%) 及びn-ヘキサン抽出物質（油分等）7.1% (11.3%) となっている。

イ 相模湾

(ア) 健康項目

健康項目は、20地点、延 1,560 検体について測定した。この結果すべての項目が環境基準に適合していた。

(イ) 生活環境項目

生活環境項目は、20地点、延 1,200 検体について測定した。このうち環境基準値を超えたものは延 195 検体、不適合率は 16.3% (15.0%) である。

項目別の不適合率は、pH 30.8 (17.1%)、COD 6.3% (6.7%)、DO 31.3% (40.4%)、大腸菌群数 12.1% (10.0%) 及びn-ヘキサン抽出物質（油分等）0.8% (0.8%) となっている。

7 測定結果の考察

(1) 河川

健康項目について、平瀬川（平瀬橋）で検出された鉛 2 検体の原因を究明するため追跡調査を実施した結果、電気部品工場から排出されていることが判明し、水質汚濁防止法に基づき、排水処理施設の改善を命令した。また、入江川（入江橋）で検出されたシアンは、同じく追跡調査を実施した結果、メッキ工場から排出されていることが判明し、排水処理施設の管理の徹底を指導した。

生活環境項目の環境基準値不適合率は、20.8%で前年度並みとなっている。

項目別にみると、pH、SS及びDOの環境基準値不適合率は、およそ10%以下と低い状況にあるが、BOD及び大腸菌群数は、それぞれ49.5%、87.6%と依然高い割合となっている。これは、生活系排水が汚濁源として大きな比重を占めているためと思われる。

河川の水質を示す代表的指標であるBOD年平均値をみると、前年度に比べ高くなつた測定地点があり、一部にやや悪化の現象がみられるが、経年的には横ばいの状況にある。地域的には前年度と同様に酒匂川を中心とした県西部の地域では環境基準を達成し、比較的清浄な河川が多いが、その他の地域では環境基準を超える河川が多くなっている。

水域別の水質の状況は、BOD年平均値でみると次のとおりである。

ア 多 摩 川

調布取水堰から上流のBODは、6.3～9.2mg/lで横ばいの状況にあり、いずれの測定地点でも環境基準を超えてる。一方、ここから下流は、3.4～6.8mg/lで前年度と同様すべての測定地点で環境基準を満足している。

上流から下流にかけての水質変化をみると、上流の多摩川原橋で8.6mg/lであったものが多摩水道橋で6.3mg/lとやや低くなるものの、二子橋では、人口密集地を流れる平瀬川、野川等の影響を受け、9.2mg/lと再び高くなる。調布取水堰から下流は、潮汐の影響を受け河口に近づくほど低い値を示している。

また、流入支川の三沢川及び平瀬川は、生活系排水の影響を受け、ともに10mg/lを超え、本川に比べ高い値となっている。

イ 鶴 見 川

河口に近い臨港鶴見川橋を除く本川のBODは、11～15mg/lと横ばいの状況にあり、いずれの測定地点でも環境基準を超えてる。

上流から下流にかけての水質変化をみると、上流の千代橋では11mg/lであったものが亀の子橋14mg/l、大綱橋15mg/l、末吉14mg/lと中流域でやや高くなる傾向を見せるが、潮汐の影響を受ける河口の臨港鶴見川橋では、5.3mg/lと低くなっている。

流入支川の恩田川、早渕川及び矢上川は、生活系排水の影響を受け15～30mg/lと本川に比べ高い値となっている。

ウ 横浜市内河川

横浜市内を流れる河川は、人口密集地域を流域とすることなどから、BODは、いずれも環境基準を超えてる。

入江川は、前年度より低くなったものの38mg/lと依然高い値となっている。

宮川は、21mg/lと前年度より高くなったものの、帷子川、大岡川及び侍従川は、11～

17 mg/l と横ばいの状況にある。

エ 横須賀市内河川

平作川及び鷹取川のBODは、それぞれ 9.3 mg/l 、 2.2 mg/l と前年度よりやや高くなつたものの、経年的には横ばいの状況にある。

松越川は、 16 mg/l と前年度より高くなっているものの、昭和55年度から測定を開始したばかりであり、今後の測定結果の推移を見守る必要がある。

オ 湘南河川

下山川、田越川及び滑川におけるBODは、 $3.8 \sim 6.3 \text{ mg/l}$ でいずれの河川でも環境基準を満足している。

森戸川、神戸川及び引地川は、 $7.8 \sim 17 \text{ mg/l}$ で前年度よりやや高くなつたものの、54年度並みであり経性的には横ばいの状況にある。

カ 境川

境川におけるBODは、 $11 \sim 25 \text{ mg/l}$ と横ばいの状況にあるものの、すべての測定地点で環境基準を超えている。特に、中流の鶴間橋から高鎌橋の間は、 $19 \sim 25 \text{ mg/l}$ と高い値となっている。これらは、境川の自然流量が少なく、流域の市街化が進み、生活系排水の流入が多いため、その影響を受けているものと思われる。高鎌橋から大道橋にかけては比較的汚濁源が少なく大道橋 12 mg/l 、境川橋 11 mg/l となっている。

支川の柏尾川では、 $9.2 \sim 18 \text{ mg/l}$ で横ばいの状況にある。

キ 相模川

相模川の本川におけるBODは、 $1.0 \sim 2.9 \text{ mg/l}$ であり、すべての測定地点で環境基準を満足している。

流入支川では、中津川のBODは、 1.1 mg/l と良好な状況にあるが、その他の鳩川、小鮎川、永池川等では、 $4.3 \sim 18 \text{ mg/l}$ であり良好な水質とはいえない。

ク 県西河川

県西河川のうち山王川、早川及び新崎川は、環境基準を満足し、比較的良好な水質が保たれている。

金目川、葛川、中村川、森戸川及び千歳川のBODは、 $2.4 \sim 10 \text{ mg/l}$ であり横ばいの状況にある。

ケ 酒匂川

酒匂川におけるBODは、流入支川も含めて、 $1.0 \sim 1.8 \text{ mg/l}$ とすべての測定地点で環境基準を満足し、良好な水質が保たれている。

(2) 湖沼

ア 相 模 湖

生活環境項目の環境基準値不適合率は、18.3%で前年度の15.0%よりやや高くなっている。

BODの年平均値は、1.4～1.9mg/lで横ばいの状況にある。

相模湖では、富栄養化が進み夏期には上層のpH、CODが下層と比較してかなり高くなるなどの現象を呈しており、また、富栄養化の要因物質であるリン及び窒素がわずかながらも増加の傾向を示し、アオコ等植物プランクトンの発生しやすい条件を備えている。

県では、県民の貴重な水源を保全するため、昭和55年度から汚濁機構等の調査を行い、昭和57年度には間欠式空気揚水筒を試験的に設置し、曝気による水質改善の効果測定を行うこととしている。

イ 津久井 湖

生活環境項目の環境基準値不適合率は、14.2%で前年度の10.4%よりやや高くなっている。

BODの年平均値は、道志橋で2.6mg/lとやや高くなっているが、その他の測定地点では2mg/l以下となっている。

津久井湖は、相模湖と同様に富栄養化が進んでおり、相模湖と一体的に富栄養化防止対策を講ずることとしている。

ウ 芦 ノ 湖

生活環境項目の環境基準値不適合率は、47.1%で前年度並みであった。

CODの年平均値は、1.7～2.1mg/lで前年度よりやや高くなっているものの、前年度同様すべての測定地点で環境基準を超えていた。

芦ノ湖の水質汚濁は、湖周辺の旅館等の観光施設からの排水が大きな要因と考えられ、その対策として特定環境保全公共下水道の整備を進めている。

エ 丹 泽 湖

生活環境項目の環境基準値不適合率は、71%で前年度の2.1%より高くなっている。

CODの年平均値は、1.2～1.7mg/lと前年度よりやや高くなっているものの、すべての測定地点で環境基準を満足し、良好な水質が保たれている。

丹沢湖への流入河川である河内川、玄倉川等の水質は、CODでみると0.6～0.7mg/lで清浄な状況にある。

(3) 海 域

ア 東 京 湾

生活環境項目の環境基準値不適合率は、18.8%で前年度並みとなっている。

COD年平均値は、川崎沖で3.7～6.7mg/lと各測定地点で前年度よりやや高くなっているが、横浜沖から湾口にかけては、磯子沖で高いことを除くと、ほぼ横ばいの状況にある。

上層のCODは、各測定地点で春から秋口にかけて高くなり、冬に低くなるが、下層では年間をとおして変化は少ない。また、富栄養化の要因物質であるリン、窒素は、わずかながらも増加の傾向を示している。

東京湾は、汚濁物質の流入が著しいことに加え、湾口の狭い閉鎖性水域であるため外洋水との交換が悪く、夏期には赤潮が発生するなどの富栄養化の状況にあり、その水質改善は、はかばかしくない。このことから、湾流入汚濁物質の総量を削減するためCODに係る総量規制を実施するとともに、関係機関と協力しながら富栄養化の要因物質であるリン、窒素の削減対策を進めることとしている。

イ 相 模 湾

生活環境項目の環境基準値不適合率は、16.3%で前年度並みとなっている。

CODの年平均値は、0.8～2.5mg/lであり、1地点を除いて環境基準を満足し、良好な水質が保たれている。

各水域の水質の状況は、以上述べたとおりである。

健康項目については、県内の全水域でほぼ環境基準を達成するに至っている。

しかし、生活環境項目について、BOD又はCODによって環境基準の達成状況をみると、県内の全水域の約半数が未達成となっている。更に、相模湖、津久井湖、東京湾等の閉鎖性水域においては、富栄養化によるアオコや赤潮の発生がみられるなど二次汚濁の影響が顕著になっている。

こうした状況の背景についてみると、産業系排水については、水質汚濁防止法及び神奈川県公害防止条例による工場、事業場への規制が、一定の効果を現しているものの、生活環境項目の汚濁原因の多くを占める生活系排水の与える影響が大きいことがうかがえる。

今後の対策としては、産業系排水に対する監視、指導を徹底するとともに、下水道整備を促進し、併せて下水道未整備地域の生活系排水対策を推進することが必要である。特に、閉鎖性水域のリン、窒素の削減を中心とした富栄養化防止対策が肝要である。

図表

図1 多摩川におけるBOD縦断変化図(年平均値)

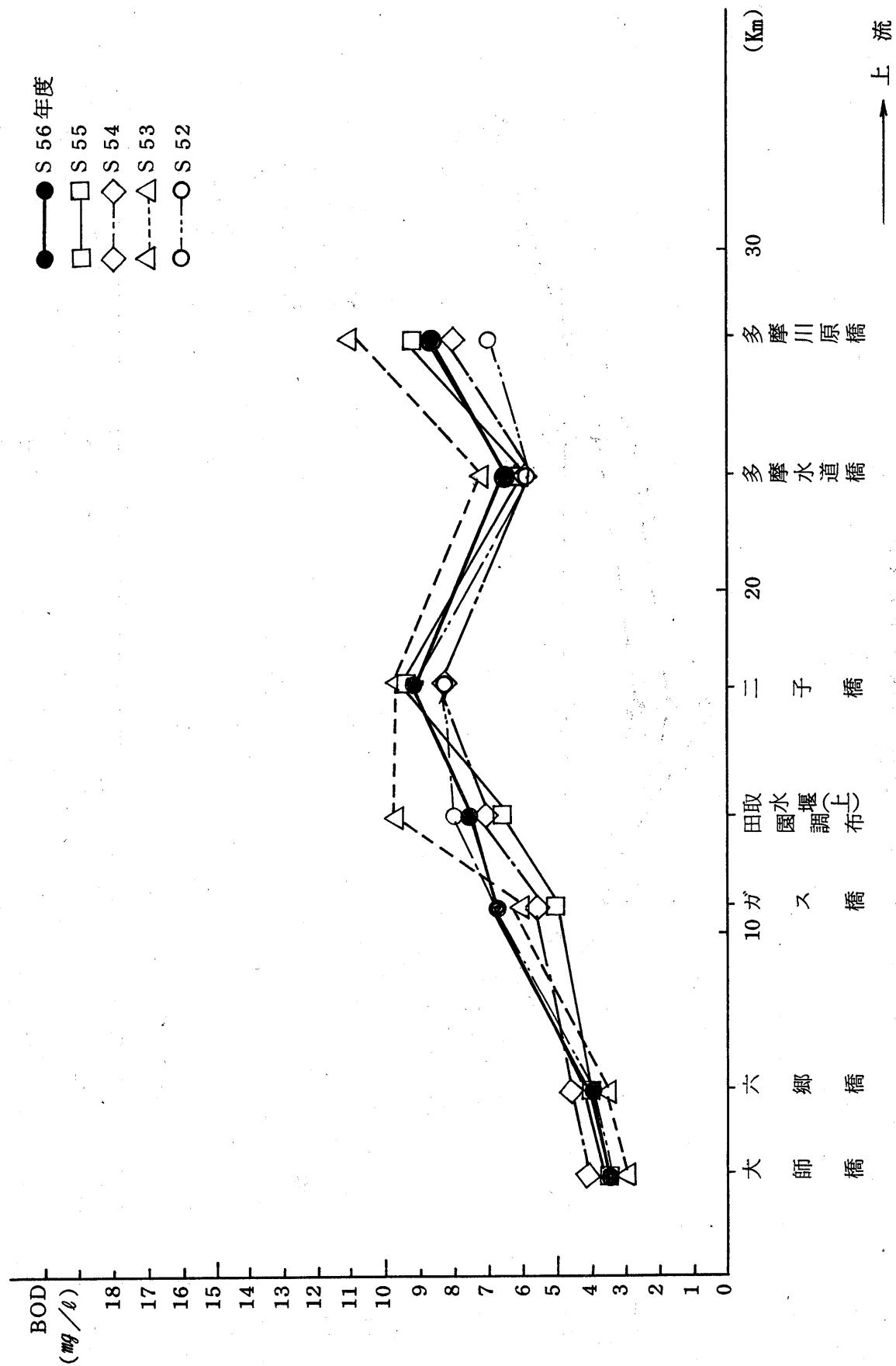


図2 鶴見川におけるBOD縦断変化図(年平均値)

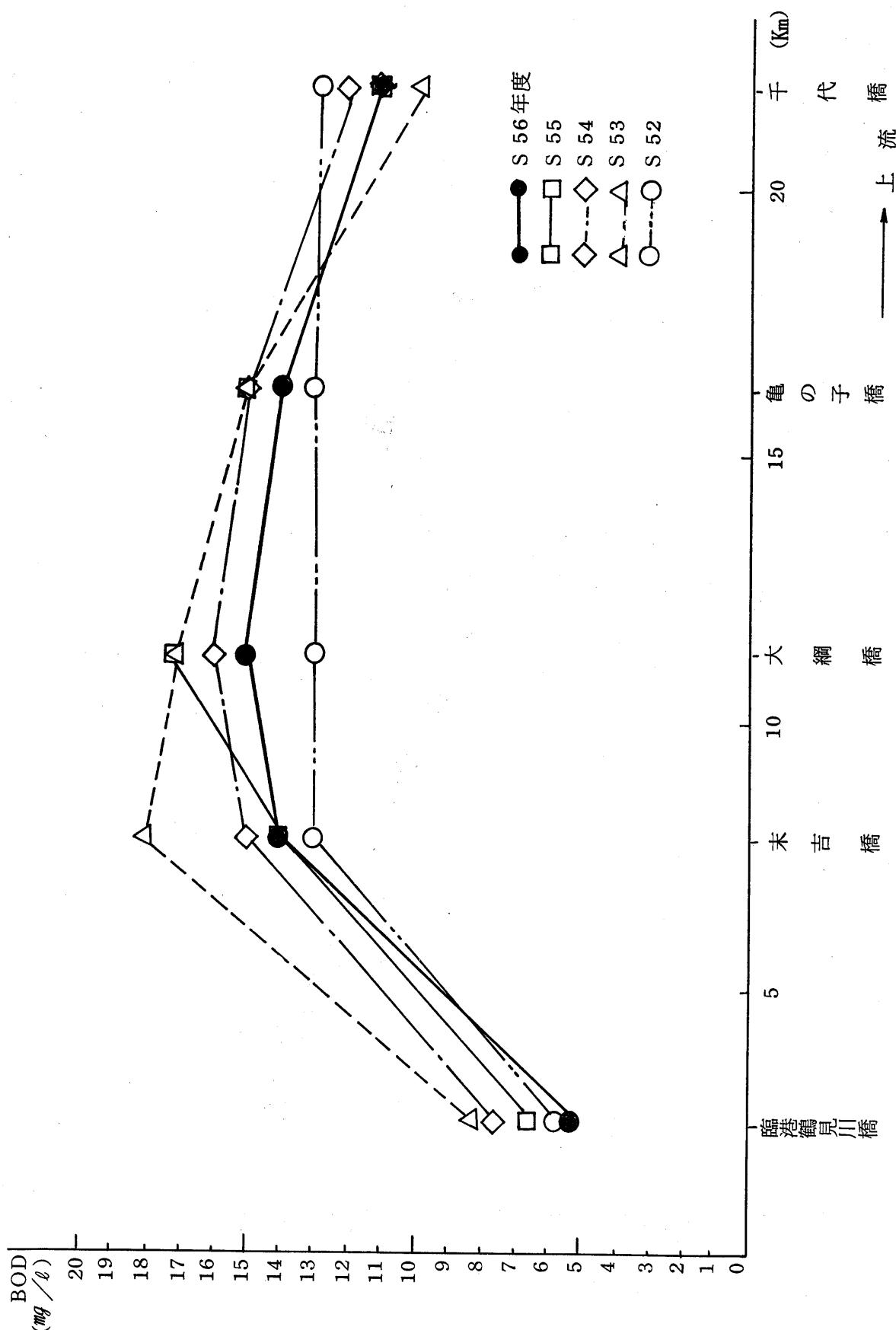


図 3 境川における BOD 縦断変化図(年平均値)

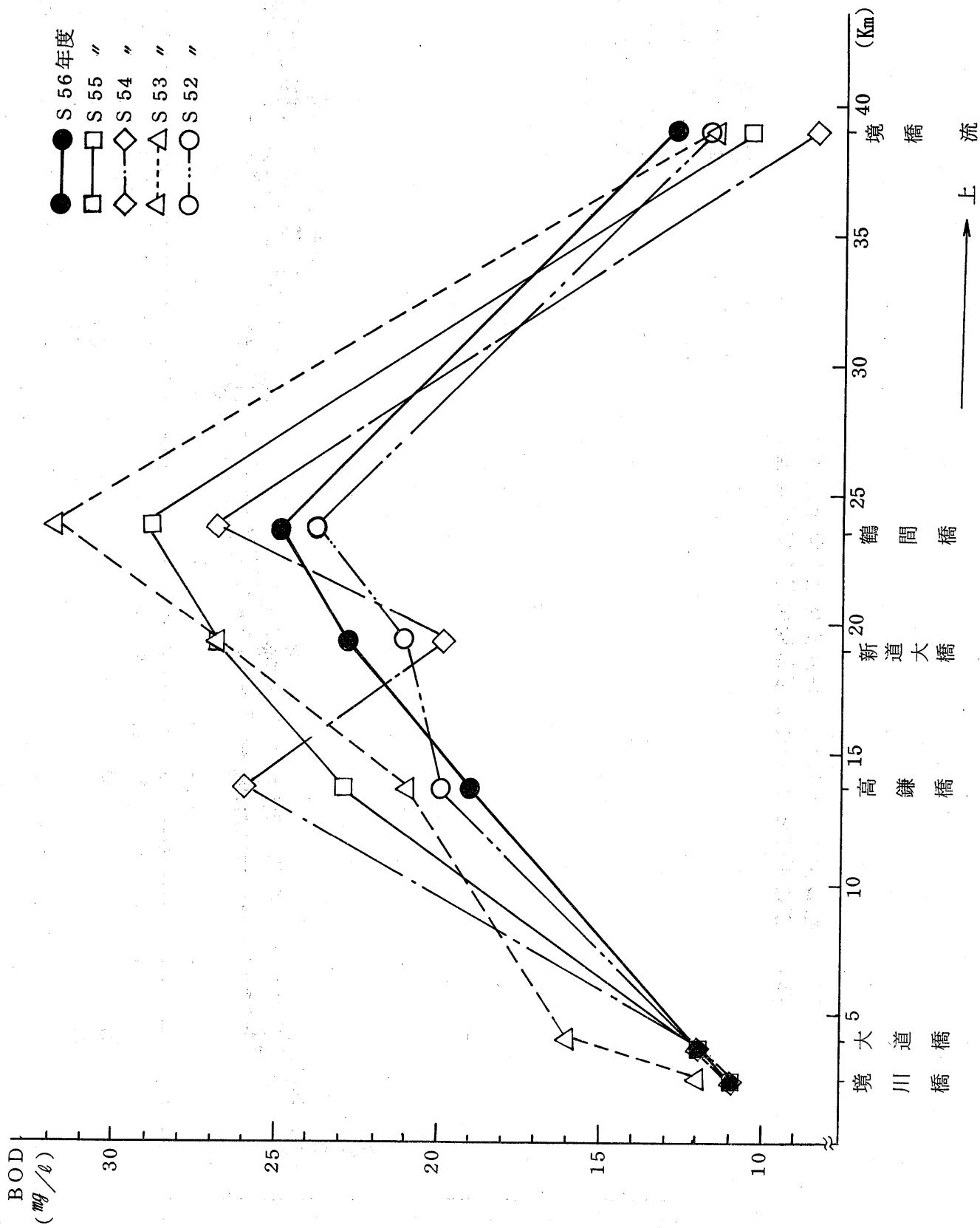


図 4 相模川における BOD 縦断変化図(年平均値)

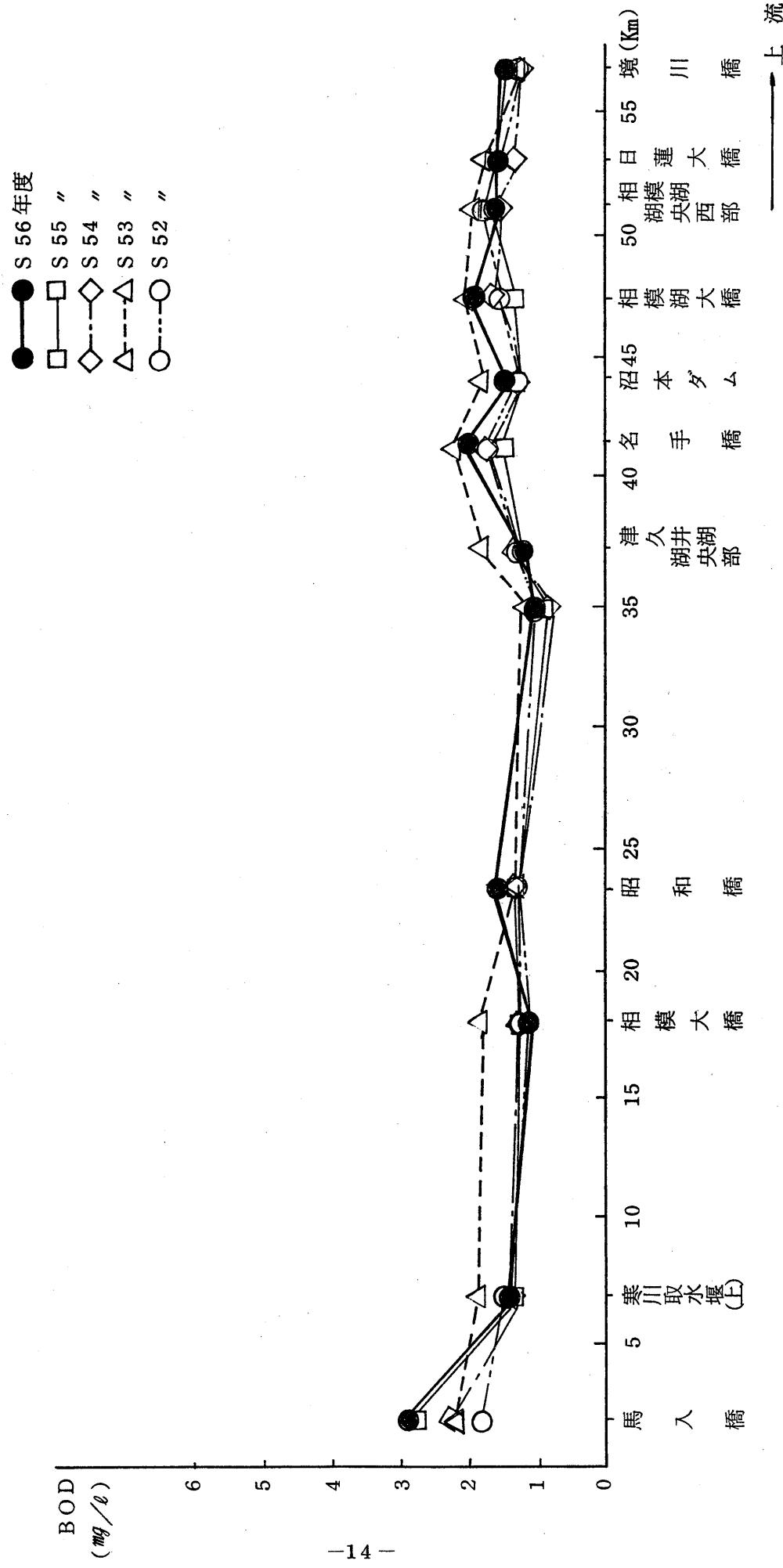


図5 酒匂川におけるBOD縦断変化図(年平均値)

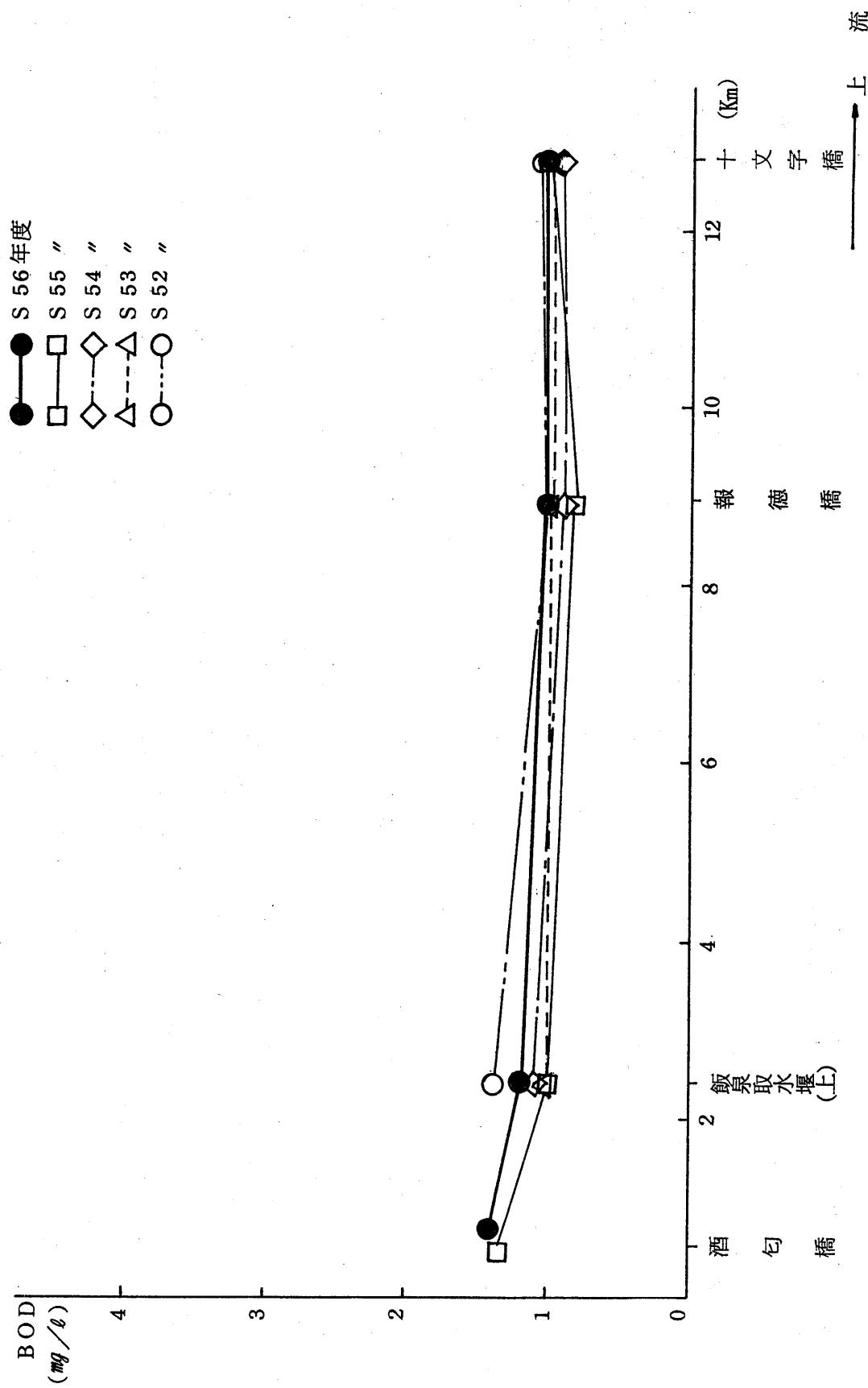
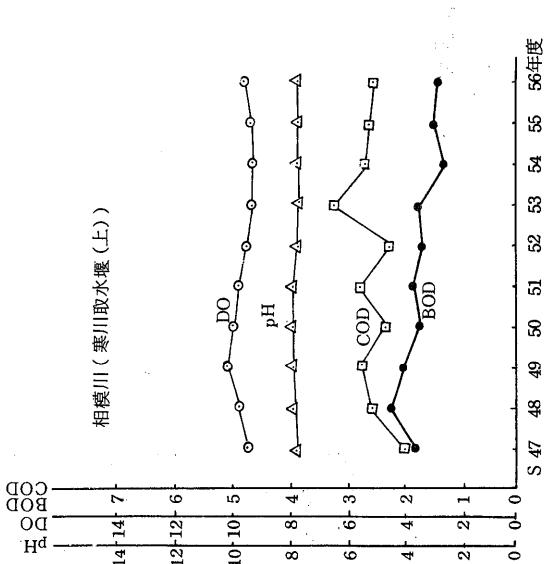
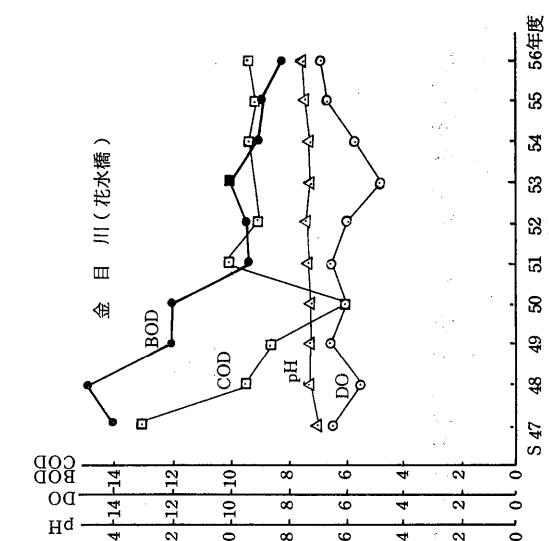
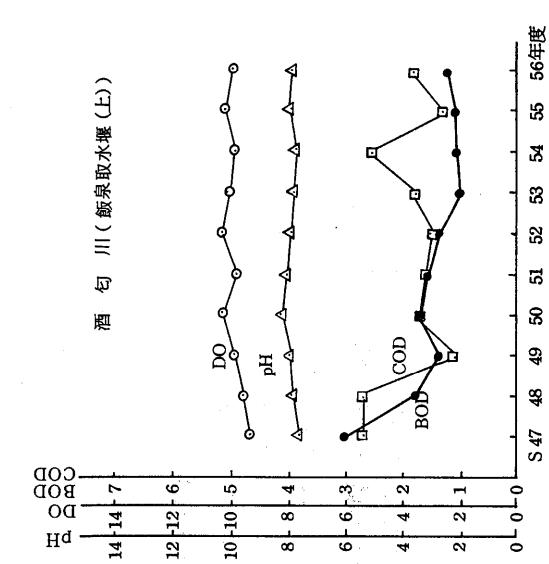
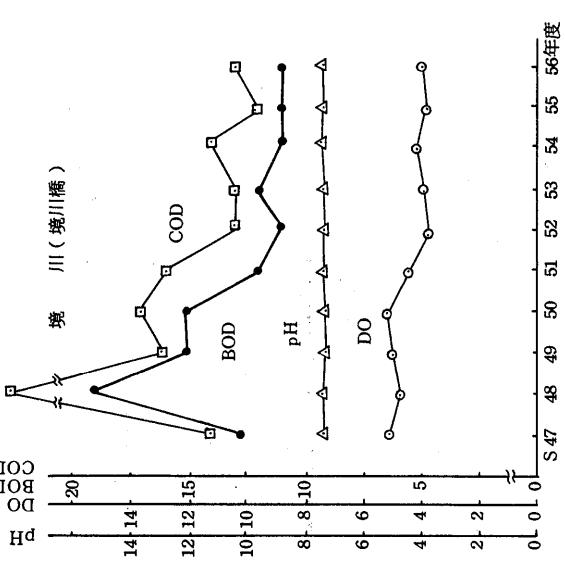
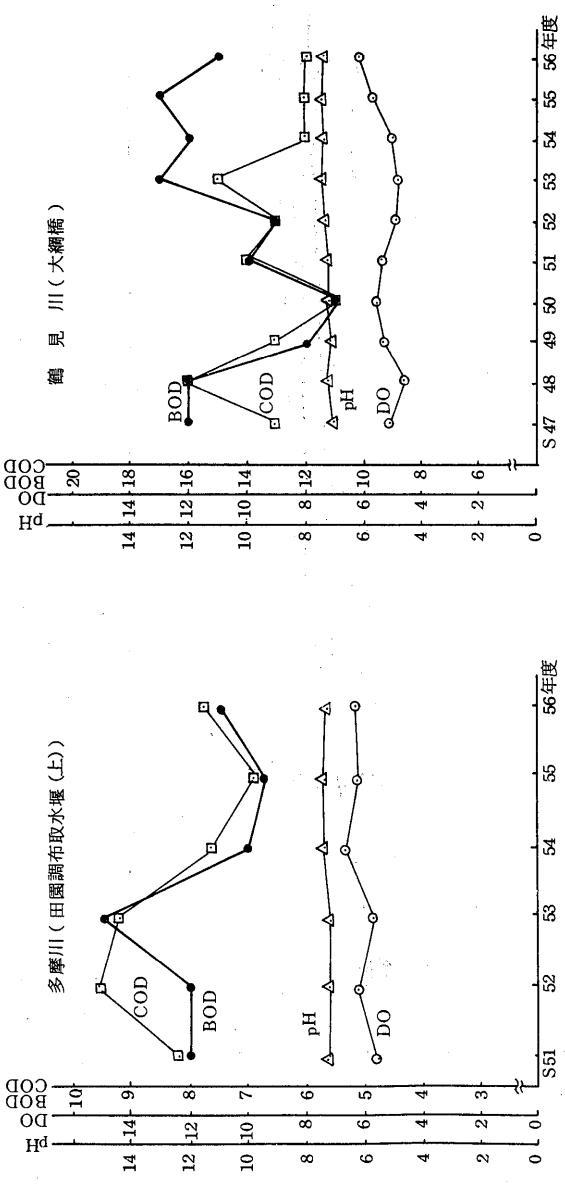


図 6 河川の主要地点における水質経年変化(年平均値)



単位
BOD, COD, DO
mg/l

図7 相模湖、津久井湖及び芦ノ湖の主要地点における水質経年変化(年平均値)

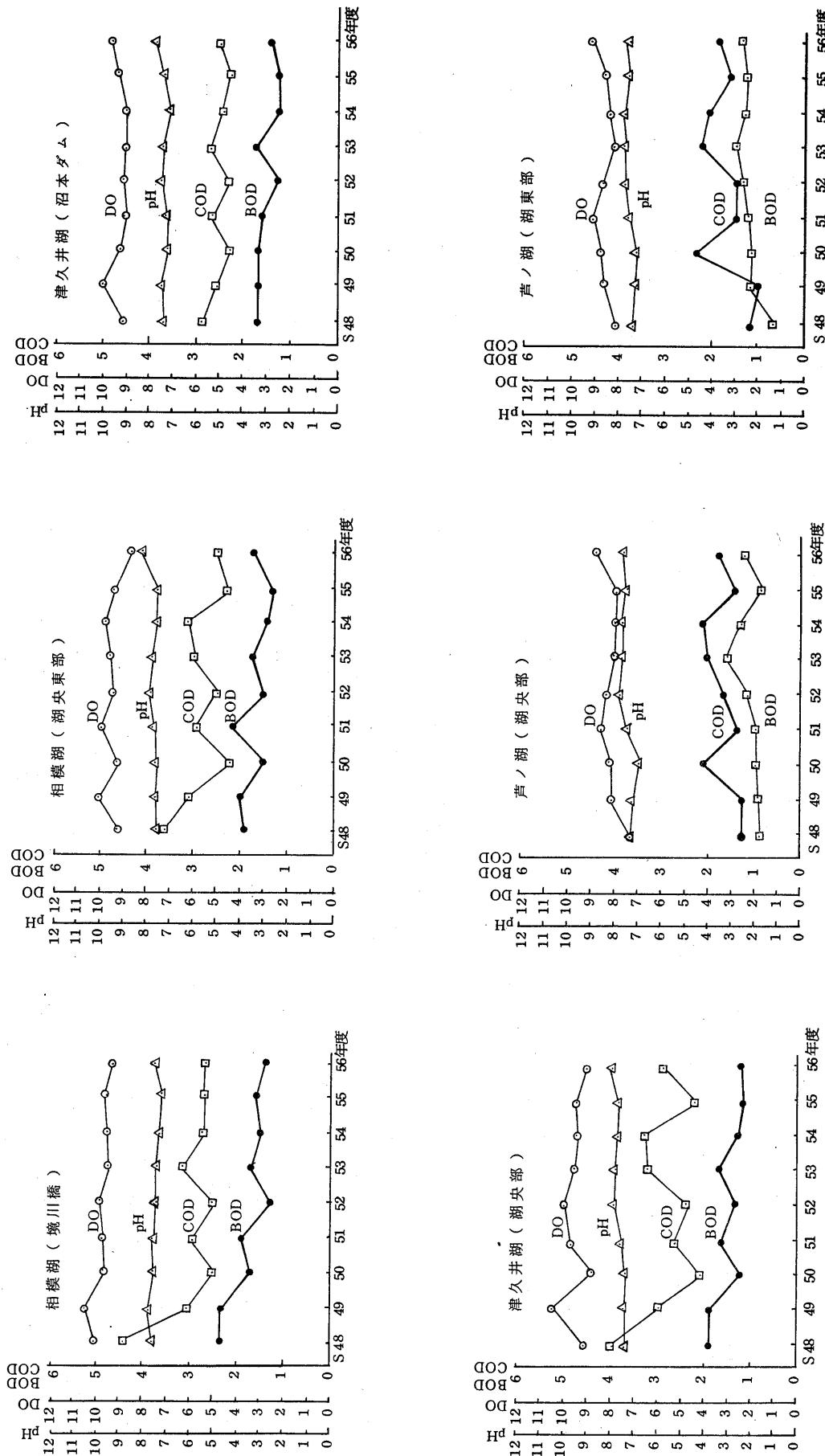


図 8 東京湾の主要地点における水質経年変化(年平均値)

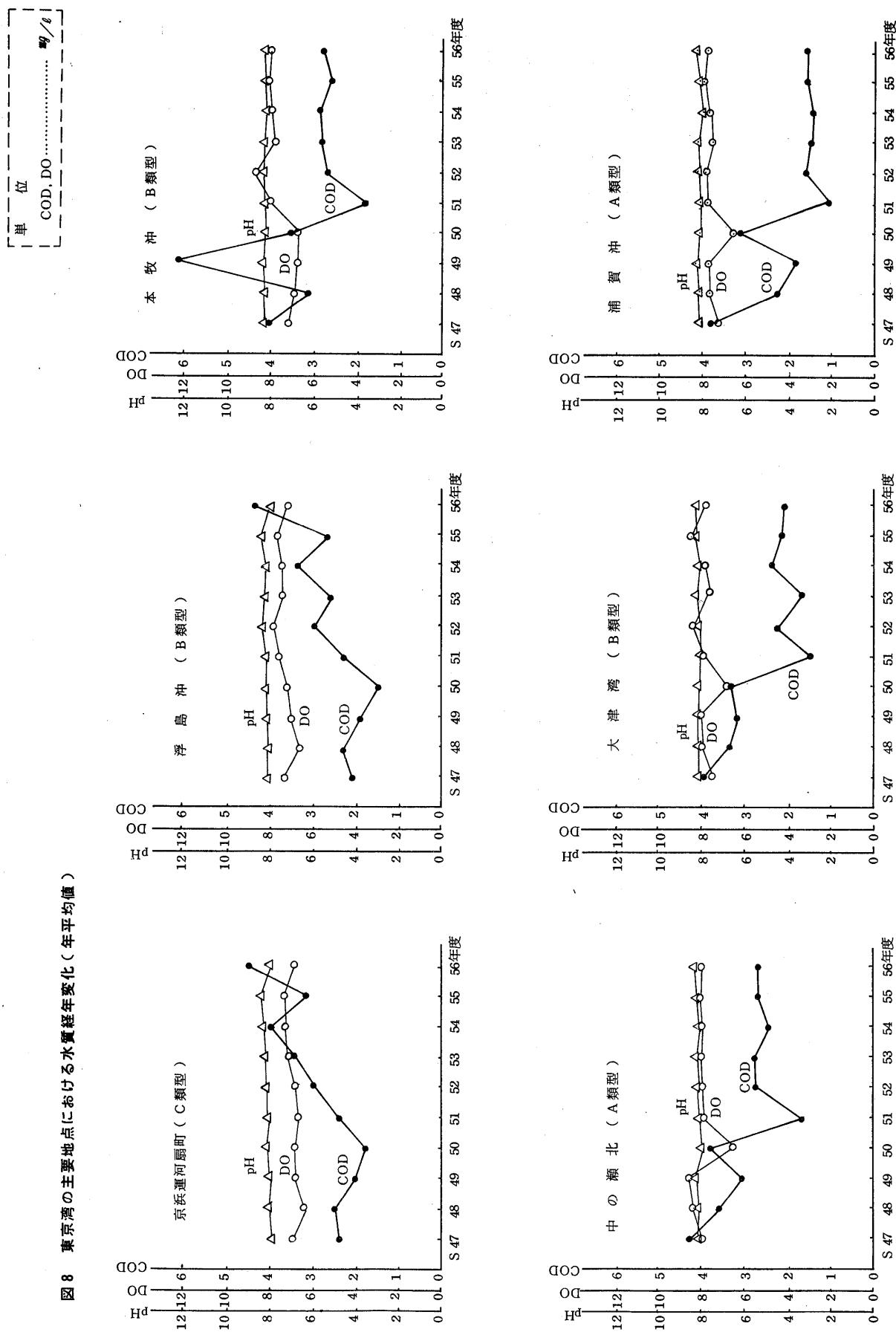


図9 湖沼及び海域における透明度の経年変化(全測定地点の平均値)

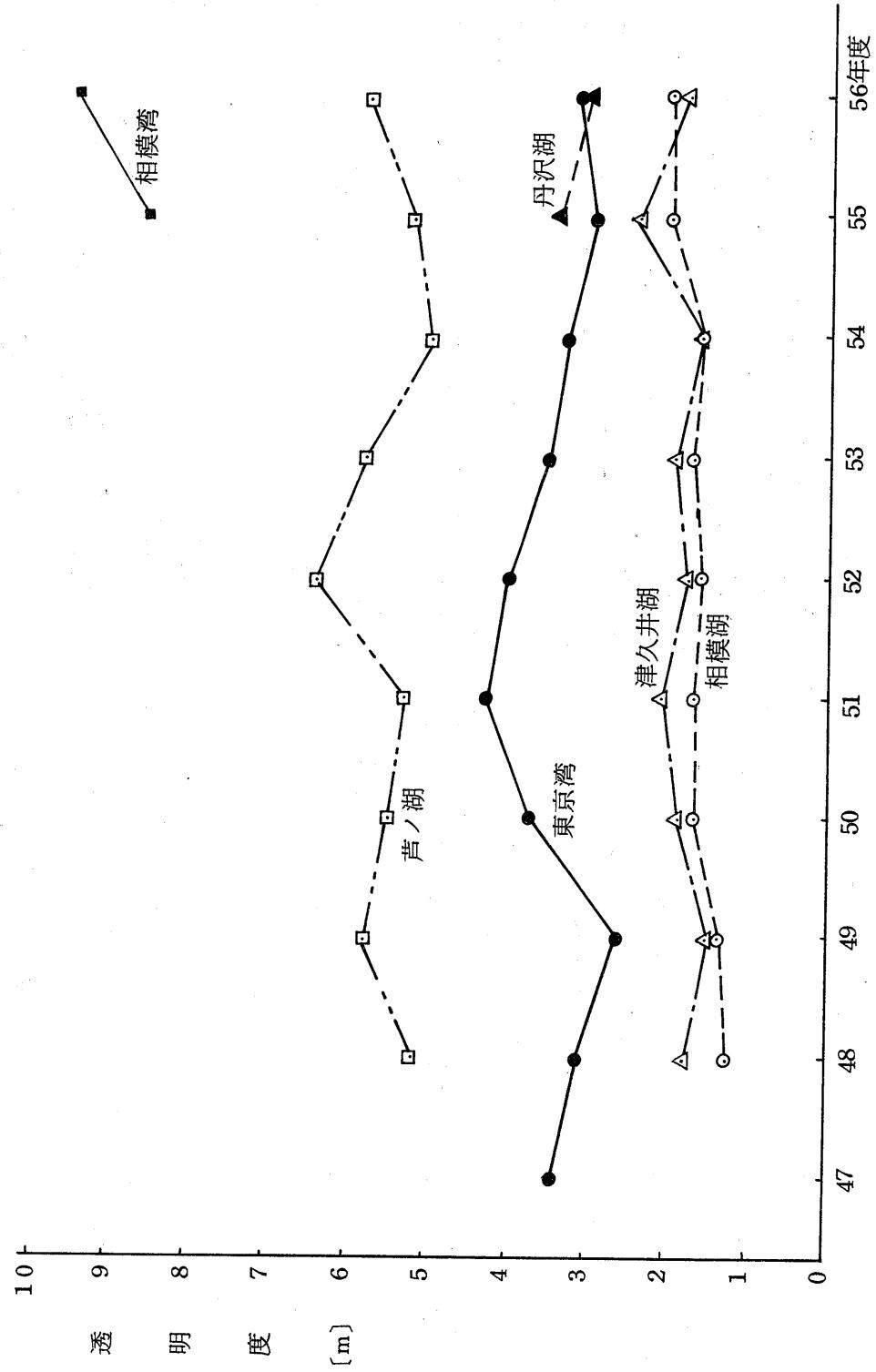


図 10 湖沼及び海域における COD (上層, 下層) の経年変化 (全測定地点の平均値)

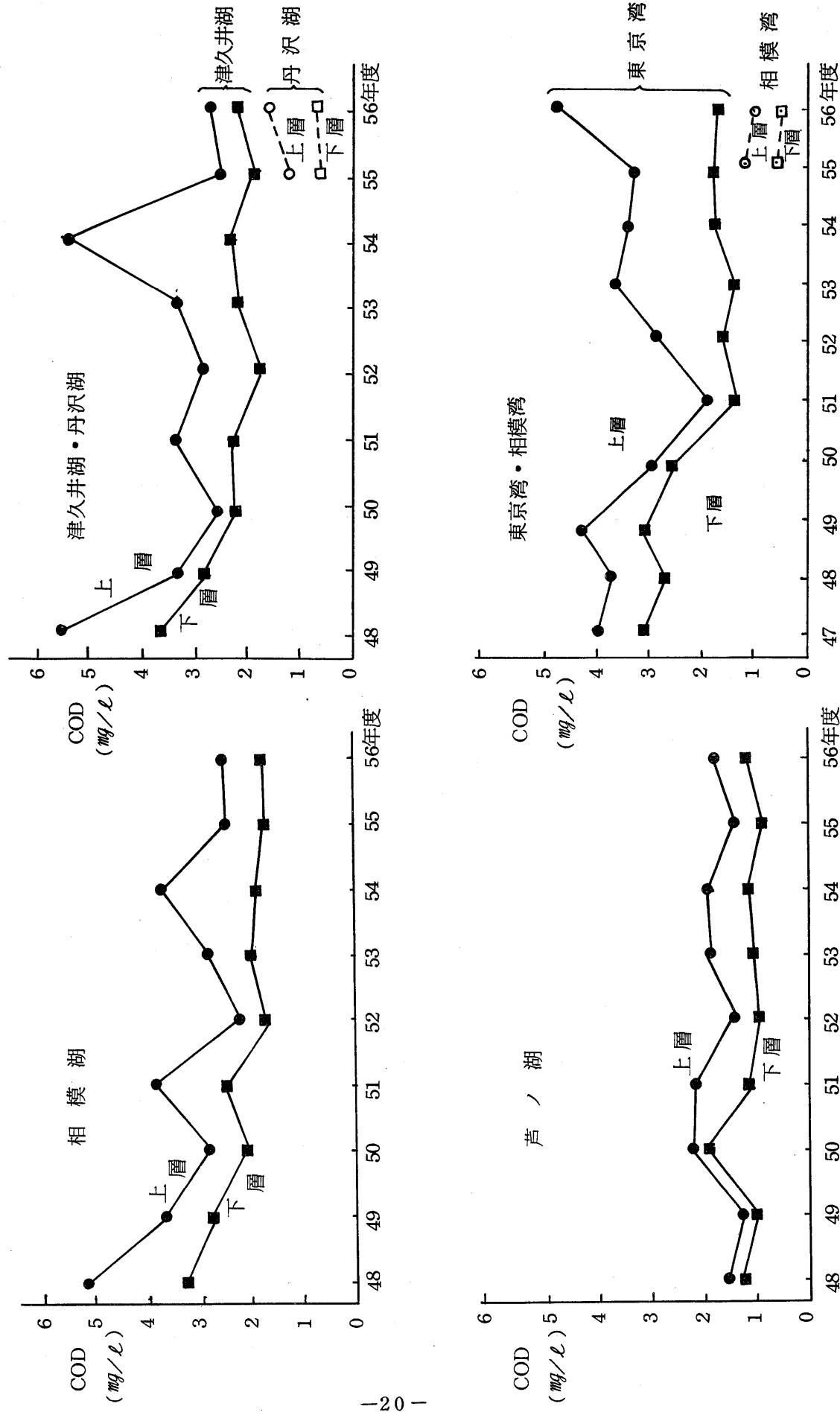


図11 湖沼及び海域における総窒素の経年変化(全測定地点の平均値)

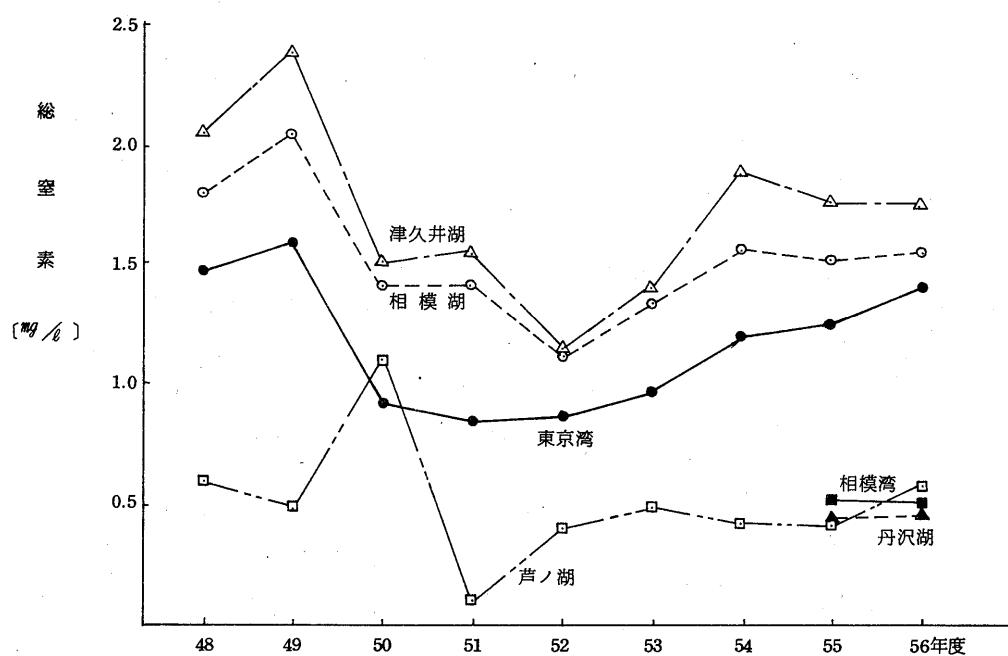


図12 湖沼及び海域におけるリン酸態リンの経年変化(全測定地点の平均値)

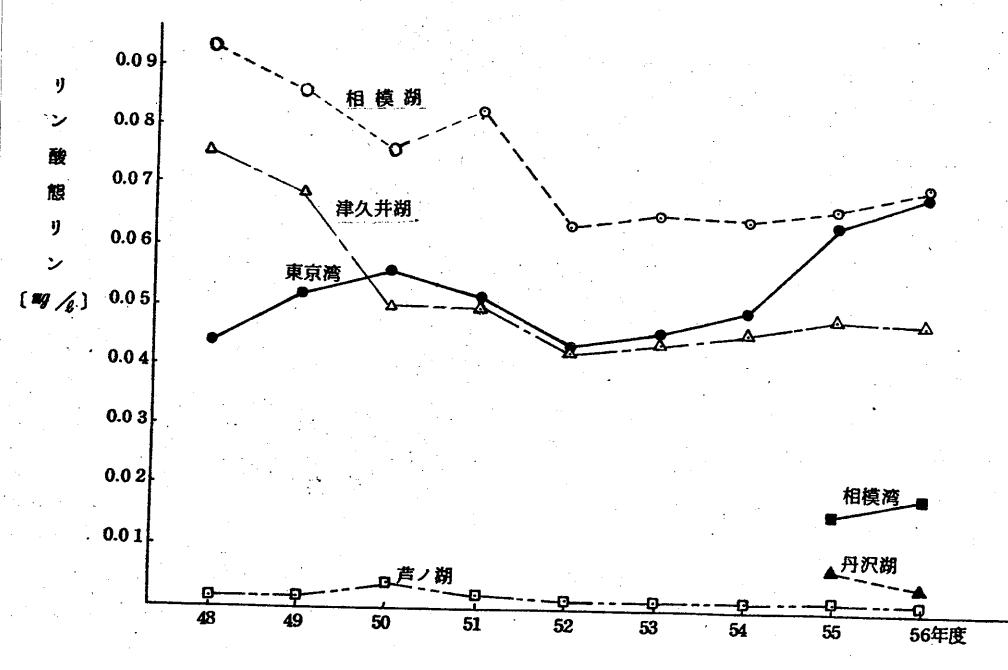


表1 各測定地点におけるBOD(COD)年平均値経年変化

1 河川(BOD)

(単位: mg/l)

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~51年度 平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
多摩川	C	①	多摩川原橋	7.1	7.1	11	8.3	9.3	8.6
		2	多摩水道橋	5.7	6.1	7.3	6.0	6.1	6.3
		3	二子橋	12	8.4	9.5	8.4	9.3	9.2
		④	田園調布取水堰(上)	※ ¹ 8.0	8.0	9.5	7.0	6.8	7.5
	D	5	ガス橋	7.6	7.0	6.2	5.6	5.1	6.8
		6	六郷橋	5.1	4.1	3.8	4.5	4.0	4.1
		⑦	大师橋	4.3	3.8	3.2	4.1	3.5	3.4
(三沢川)	C	8	一の橋	—	—	—	—	18	17
(平瀬川)	C	9	平瀬橋	14	11	19	14	12	19
鶴見川	D	10	千代橋	14	13	9.8	12	11	11
		⑪	亀の子橋	12	13	15	15	15	14
	E	⑫	大綱橋	14	13	17	16	17	15
		13	末吉橋	16	13	18	15	14	14
		⑭	臨港鶴見川橋	8.2	5.8	8.1	7.5	6.8	5.3
(恩田川)	D	15	都橋	※ ¹ 24	18	17	16	14	15
(早渕川)	E	16	峯大橋	26	18	21	22	18	20
(矢上川)		17	一本橋	47	44	36	35	28	30
入江川	E	⑯	入江橋	47	60	54	54	48	38
帷子川	E	⑯	水道橋	20	19	19	17	16	17
大岡川	E	⑰	清水橋	22	10	11	8.7	8.8	11
宮川	E	⑱	瀬戸橋	14	16	17	15	14	21
侍従川	E	⑲	平瀬橋	13	11	12	13	11	11
鷹取川	E	⑳	追浜橋	23	24	20	22	19	22
平作川	E	㉑	夫婦橋	24	14	9.0	10	7.9	9.3
松越川	E	㉒	竹川合流後	—	—	—	—	11	16

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~51年度 平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
下山川	E	㉖	下山橋	6.8	6.4	6.0	5.6	5.8	6.3
森戸川 ※葉山町内	E	㉗	森戸橋	9.6	11	9.7	9.1	7.9	9.5
田越川	E	㉘	渚橋	6.0	4.7	4.8	3.8	3.2	3.8
滑川	E	㉙	滑川橋	14	11	11	7.5	4.5	4.8
神戸川	E	㉚	神戸橋	16	16	17	21	13	17
境川	D	31	境橋	※ ² 11	12	12	8.9	11	13
		32	鶴間橋	27	24	32	27	24	25
		33	新道大橋	※ ¹ 18	21	27	20	22	23
		34	高鎌橋	17	20	21	26	18	19
		35	大道橋	15	12	16	12	12	12
		㉞	境川橋	15	11	12	11	11	11
(柏尾川)	D	37	吉倉橋	※ ¹ 22	15	17	19	18	18
		38	鷹匠橋	—	—	—	—	12	11
		39	川名橋	15	11	13	10	10	9.2
引地川	D	40	下土棚大橋	※ ¹ 8.6	9.5	9.5	8.9	7.4	9.1
		41	石川橋	9.2	9.7	9.6	10	8.9	9.5
		㉩	富士見橋	9.3	9.9	9.3	8.1	7.6	7.8
相模川	A	43	小倉橋	1.3	1.0	1.3	0.8	0.9	1.0
		44	昭和橋	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.5
		45	相模大橋	1.5	1.4	1.8	1.3	1.3	1.2
		㉯	寒川取水堰(上)	1.9	1.7	1.8	1.3	1.5	1.4
	C	㉧	馬入橋	3.0	1.9	2.1	2.3	2.7	2.9
(鳩川)		48	まぶね橋	6.9	7.6	8.7	9.9	11	18
(中津川)	A	49	第1鮎津橋	1.2	1.2	1.2	1.2	1.3	1.1
(小鮎川)		50	第2鮎津橋	5.4	5.5	6.5	6.4	5.7	7.3
(玉川)		51	相川水位観測所	10	8.0	4.3	4.2	4.3	4.3
(永池川)	C	52	本川合流前	※ ¹ 6.7	7.3	6.2	6.3	7.4	9.7
(目久尻川)		53	本川合流前	15	8.9	11	8.5	6.8	9.6

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47-51年度平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
(小出川)	C	54	本川合流前	※ ³ 11	12	13	9.1	10	13
金目川	A	⑤5	小田急鉄橋	7.0	5.6	5.9	5.0	3.8	5.7
	C	⑤6	花水橋	12	9.4	10	9.0	9.0	8.2
(鈴川)	C	57	渋田川合流前	※ ¹ 6.2	5.4	4.2	5.1	6.8	6.6
		58	鈴川合流前	※ ¹ 6.7	6.7	5.5	5.5	8.3	9.1
葛川	C	⑤9	吉田橋	12	8.0	9.3	8.0	8.4	10
中村川	C	⑥0	押切橋	5.2	4.6	4.8	4.5	4.8	5.8
森戸川	D	61	万石橋	2.2	2.2	2.0	2.5	2.3	2.4
*小田原市内		⑥2	親木橋	11	7.6	6.3	7.3	7.9	7.5
酒匂川	A	63	十文字橋	1.6	1.1	1.1	0.9	1.0	1.1
		64	報徳橋	1.6	1.0	1.0	0.9	0.9	1.1
		⑥5	飯泉取水堰(上)	1.9	1.4	1.0	1.1	1.1	1.2
	B	⑥6	酒匂橋	-	-	-	-	1.3	1.4
(鮎沢川)	A	67	峰下橋	※ ¹ 1.0	1.0	1.0	1.1	0.9	1.1
(川音川)		68	文久橋	※ ¹ 0.9	0.6	0.9	1.0	0.7	1.0
(狩川)		69	狩川橋	2.1	1.5	1.4	1.4	1.6	1.8
山王川	E	70	足柄小学校前	2.6	2.4	2.2	2.3	2.1	1.9
		⑦1	山王橋	4.5	5.0	2.9	3.0	3.1	3.8
早川	A	72	観光会館前	※ ¹ 1.8	1.5	1.5	1.4	1.5	1.1
		⑦3	早川橋	1.7	1.7	1.6	1.8	1.5	1.1
新崎川	B	⑦4	吉浜橋	1.3	1.7	1.7	1.6	1.4	1.5
千歳川	B	⑦5	千歳橋	2.6	3.5	2.8	3.6	3.3	2.8
(丹沢湖流入河川 落合発電所放流水) (玄倉川)	A	76	落合発電所	-	-	-	-	0.9	0.8
		77	玄倉水位観測所	-	-	-	-	1.0	0.7
		78	湖流入前	-	-	-	-	0.9	0.7
		79	湖流入前	-	-	-	-	0.9	0.6

注 1 番号が○でかこまれている測定地点は、環境基準点である。(以下同じ。)

2 ※1 : 51年度の年平均値

※2 : 49年度から51年度までの各年度の年平均値の平均値

※3 : 48年度から51年度までの各年度の年平均値の平均値

2 相模湖 (BOD)、津久井潮 (BOD)、芦ノ湖 (COD) 及び丹沢湖 (COD)

水域	類型	番号	測定地点	48~51年度 平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
相 模 湖	河 川 A	①	境川橋	2.1	1.3	1.6	1.5	1.5	1.4
		2	日連大橋	2.5	1.5	1.9	1.3	1.5	1.5
		3	湖央西部	1.9	1.7	2.1	1.5	1.6	1.5
		4	湖央東部	1.9	1.4	1.7	1.4	1.3	1.6
		5	相模湖大橋	2.1	1.5	1.9	1.7	1.3	1.9
津 久 井 湖	河 川 A	①	沼本ダム	1.7	1.3	1.8	1.3	1.3	1.4
		2	名手橋	1.9	1.8	2.2	1.6	1.4	1.9
		3	湖央部	1.7	1.3	1.7	1.3	1.2	1.2
		4	道志橋	3.2	2.3	2.5	2.3	2.6	2.6
芦 ノ 湖	湖 沼 AA	①	湖北中央部	1.6	1.4	2.0	2.2	1.5	2.1
		②	湖央部	1.5	1.6	2.0	2.1	1.4	1.7
		③	湖西部	1.5	1.4	2.1	2.1	1.4	1.7
		④	湖東部	1.5	1.5	2.2	2.0	1.6	1.8
丹 沢 湖	湖 沼 A	①	湖央部	-	-	-	-	1.1	1.2
		2	大仏大橋	-	-	-	-	1.1	1.4
		3	湖東部	-	-	-	-	1.0	1.4
		4	湖西部	-	-	-	-	1.5	1.7

3 東京湾 (C O D)

番号	測定地点	類型	47-51年度 平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
1	多摩川河口先 N 35° 32' 06" E 139° 46' 23"	C	-	-	-	-	4.3	6.7
②	浮島沖 N 35° 30' 04" E 139° 48' 42"	B	2.0	3.0	2.6	3.4	2.7	4.4
③	千鳥町沖 N 35° 28' 50" E 139° 47' 56"	B	1.7	2.8	2.4	3.3	2.8	3.7
4	川崎航路 N 35° 30' 13" E 139° 46' 52"	C	-	-	-	-	2.7	4.2
⑤	京浜運河千鳥町 N 35° 30' 04" E 139° 45' 24"	C	2.1	2.9	3.1	4.3	3.3	4.2
⑥	川崎港防波堤沖 N 35° 28' 33" E 139° 44' 57"	C	1.9	3.2	3.1	3.5	3.2	4.5
⑦	京浜運河扇町 N 35° 29' 19" E 139° 43' 28"	C	2.2	3.0	3.5	4.0	3.2	4.5
⑧	扇島沖 N 35° 27' 27" E 139° 45' 05"	B	1.6	2.7	2.5	3.2	3.2	3.9
⑨	鶴見川河口先 N 35° 28' 22" E 139° 41' 19"	C	5.0	2.5	3.6	3.9	4.8	4.6
⑩	横浜港内 N 35° 27' 25" E 139° 39' 01"	C	4.1	2.4	3.1	3.1	3.5	3.3
⑪	中の瀬北 N 35° 25' 04" E 139° 44' 56"	A	3.3	2.8	2.8	2.5	2.7	2.7
⑫	本牧沖 N 35° 24' 00" E 139° 41' 28"	B	3.7	2.7	2.8	2.9	2.6	2.8
⑬	磯子沖 N 35° 23' 28" E 139° 39' 04"	C	3.8	2.1	3.0	2.9	2.8	4.3
⑭	中の瀬南 N 35° 20' 50" E 139° 43' 30"	A	3.3	2.0	2.4	2.3	2.6	2.2
⑮	富岡沖 N 35° 22' 00" E 139° 45' 40"	B	3.9	2.1	3.4	3.0	3.1	2.5
⑯	第三海堡東 N 35° 16' 56" E 139° 45' 40"	A	2.8	1.9	1.8	1.7	1.6	1.8
17	平潟湾沖 N 35° 20' 00" E 139° 39' 42"	B	※ 3.2	2.5	3.6	3.1	2.9	3.1
⑰	平潟湾内 N 35° 19' 28" E 139° 37' 48"	B	5.3	3.6	4.7	4.2	4.3	5.2
⑲	夏島沖 N 35° 18' 44" E 139° 39' 06"	C	3.7	1.7	2.9	2.6	2.7	2.5
⑳	大津湾 N 35° 16' 32" E 139° 42' 12"	B	3.1	2.3	1.7	2.4	2.2	2.1
㉑	浦賀港内 N 35° 14' 04" E 139° 43' 40"	B	2.7	2.2	1.5	1.6	1.9	2.1
㉒	浦賀沖 N 35° 13' 28" E 139° 46' 00"	A	2.4	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6
㉓	久里浜港内 N 35° 13' 13" E 139° 43' 20"	B	3.0	2.1	1.7	1.8	2.1	1.9

注 ※:49年度から51年度までの各年度の年平均値の平均値

4 相模湾 (C O D)

番号	測定地点	類型	55年度	56年度
①	城ヶ島沖 N 35°06'48" E 139°37'48"	A	1.3	1.3
2	城ヶ島西 N 35°07'50" E 139°36'00"	A	1.2	1.2
③	小綱代湾 N 35°10'00" E 139°36'00"	A	0.9	0.9
4	小田和湾 N 35°12'45" E 139°36'35"	A	1.3	1.3
5	葉山沖 N 35°15'18" E 139°33'48"	A	1.2	1.1
⑥	由比ヶ浜沖 N 35°17'00" E 139°32'48"	A	1.2	1.1
7	七里ヶ浜沖 N 35°17'24" E 139°30'24"	A	1.1	1.1
8	江ノ島西 N 35°17'54" E 139°28'33"	A	2.2	2.5
⑨	辻堂沖 N 35°18'12" E 139°27'04"	A	1.3	1.1
10	茅ヶ崎沖 N 35°17'54" E 139°24'00"	A	1.1	1.3
11	平塚沖 N 35°18'12" E 139°21'12"	A	1.5	1.3
⑫	大磯沖 N 35°17'24" E 139°17'24"	A	1.0	1.1
13	湾央東 N 35°14'36" E 139°28'33"	A	1.1	1.1
⑭	湾央 N 35°14'36" E 139°22'36"	A	1.0	0.9
15	湾央西 N 35°14'36" E 139°16'36"	A	1.1	1.2
16	国府津沖 N 35°16'08" E 139°13'44"	A	1.0	0.9
17	小田原沖 N 35°14'36" E 139°11'24"	A	0.9	0.9
⑯	根府川沖 N 35°12'24" E 139°09'48"	A	1.2	0.8
19	真鶴沖 N 35°09'31" E 139°09'48"	A	1.1	0.9
⑳	吉浜沖 N 35°08'26" E 139°07'56"	A	1.1	0.9

表2 各測定地点におけるBOD(COD)75%値経年変化

1 河川(BOD)

(単位: mg/l)

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~51年度平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
多摩川	C	①	多摩川原橋	9.1	9.4	14	9.0	12	12
		2	多摩水道橋	6.8	6.6	9.7	6.5	7.9	7.2
		3	二子橋	14	10	12	9.7	11	10
		④	田園調布取水堰上	※ ¹ 9.8	8.5	11	7.7	8.4	8.4
	D	5	ガス橋	9.2	8.3	7.0	5.9	6.8	7.3
		6	六郷橋	5.9	4.5	4.3	5.4	3.9	4.8
		⑦	大師橋	5.1	4.5	3.4	4.8	4.2	3.9
(三沢川) (平瀬川)	C	8	一の橋	—	—	—	—	25	17
		9	平瀬橋	17	12	24	18	15	20
鶴見川	D	10	千代橋	17	16	11	12	14	11
		⑪	亀の子橋	14	16	17	16	16	17
	E	⑫	大綱橋	16	16	19	21	17	17
		13	末吉橋	19	16	17	17	16	18
		⑭	臨港鶴見川橋	8.8	7.2	10	9.6	6.7	6.8
	D	15	都橋	※ ¹ 27	22	22	21	17	18
(早渕川)	E	16	峯大橋	27	18	23	28	23	29
		17	一本橋	58	60	42	43	33	39
入江川	E	⑯	入江橋	59	63	59	65	62	43
帷子川	E	⑯	水道橋	22	22	23	22	16	20
大岡川	E	⑰	清水橋	26	12	15	9.6	9.9	12
宮川	E	⑱	瀬戸橋	16	19	18	16	17	25
侍従川	E	⑲	平潟橋	16	11	15	15	15	13
鷹取川	E	⑳	追浜橋	28	24	24	28	24	22
平作川	E	㉑	夫婦橋	28	14	9.1	13	9.9	11
松越川	E	㉒	竹川合流後	—	—	—	—	11	19

注 1 番号が○でかこまれている測定地点は、環境基準点である。(以下同じ。)

2 75%値とは、年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べたときの
0.75×n 番目(nは日間平均値のデータ数)のデータ値である。3 ※¹ : 51年度の75%値※² : 49年度から51年度までの各年度の75%値の平均値※³ : 48年度から51年度までの各年度の75%値の平均値

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~51年度 平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
下山川	E	㉖	下山橋	7.3	6.8	6.3	5.9	5.7	8.1
森戸川 ※葉山町内	E	㉗	森戸橋	12	14	9.9	8.7	8.4	11
田越川	E	㉘	渚橋	7.3	5.7	7.2	4.4	4.0	3.8
滑川	E	㉙	滑川橋	17	11	15	9.1	4.9	5.0
神戸川	E	㉚	神戸橋	17	16	23	22	17	18
境川	D	31	境橋	※ ² 15	12	11	9.3	12	16
		32	鶴間橋	33	27	39	33	28	31
		33	新道大橋	※ ¹ 18	23	33	23	22	26
		34	高鎌橋	20	24	25	25	24	20
		35	大道橋	17	14	22	15	14	14
		㉖	境川橋	18	12	14	16	13	15
(柏尾川)	D	37	吉倉橋	※ ¹ 24	18	20	23	20	22
		38	鷹匠橋	-	-	-	-	14	12
		39	川名橋	18	14	14	11	13	10
引地川	D	40	下土棚大橋	※ ¹ 10	10	11	10	8.1	10
		41	石川橋	10	10	11	12	9.9	11
		㉒	富士見橋	9.9	11	10	8.5	8.1	9.2
相模川	A	43	小倉橋	1.6	1.2	1.5	0.9	1.0	1.1
		44	昭和橋	1.7	1.6	1.9	1.7	1.5	2.1
		45	相模大橋	1.7	1.7	2.0	1.6	1.4	1.5
		㉖	寒川取水堰(上)	2.3	2.0	2.2	1.6	1.7	1.7
(鳩川)	C	㉗	馬入橋	3.6	2.4	2.4	2.6	2.5	3.4
(中津川)		48	まぶね橋	7.7	7.7	9.3	11	9.7	22
(小鮎川)	A	49	第1鮎津橋	1.4	1.4	1.6	1.4	1.3	1.4
(玉川)		50	第2鮎津橋	6.5	6.2	8.4	7.9	6.8	8.9
(永池川)		51	相川水位観測所	14	11	5.4	4.5	5.0	4.7
		52	本川合流前	※ ¹ 7.9	9.5	7.5	7.1	7.5	13

水域(支川)	類型	番号	測定地点	47~51年度 平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
(目久尻川)	C	53	本川合流前	16	9.0	11	9.1	7.8	12
(小出川)	C	54	本川合流橋	※ ³ 13	14	16	12	14	14
金目川	A	55	小田急鉄橋	9.0	6.5	5.8	5.7	4.2	6.4
	C	56	花水橋	15	12	13	11	9.7	10
(鈴川)	C	57	渋田川合流前	※ ¹ 8.0	7.5	5.0	5.3	8.9	8.3
(渋田川)		58	鈴川合流前	※ ¹ 6.5	7.5	6.7	7.1	7.1	12
葛川	C	59	吉田橋	13	11	9.9	8.6	9.2	13
中村川	C	60	押切橋	6.0	5.0	5.1	5.5	5.9	6.3
森戸川	D	61	万石橋	2.7	2.5	2.6	2.8	3.1	2.9
※小田原市内		62	親木橋	13	7.8	6.7	9.2	9.7	11
酒匂川	A	63	十文字橋	2.0	1.4	1.6	1.0	1.1	1.2
		64	報徳橋	1.9	1.2	1.4	1.1	0.9	1.3
		65	飯泉取水堰(上)	2.5	1.7	1.2	1.1	1.2	1.4
	B	66	酒匂橋	—	—	—	—	1.9	1.8
(鮎沢川)	A	67	峰下橋	※ ¹ 1.2	1.2	1.6	1.1	1.0	1.3
(川音川)		68	文久橋	※ ¹ 0.9	0.9	1.5	1.3	0.8	1.1
(狩川)		69	狩川橋	2.6	1.8	1.8	1.7	1.6	2.1
山王川	E	70	足柄小学校前	3.0	2.6	2.5	2.6	2.7	2.0
		71	山王橋	5.0	5.8	4.0	3.1	3.5	4.5
早川	A	72	観光会館前	※ ¹ 2.3	2.0	1.8	1.7	1.5	1.3
		73	早川橋	2.0	2.0	1.6	1.9	1.7	1.5
新崎川	B	74	吉浜橋	1.8	1.9	1.9	1.7	1.7	1.7
千歳川	B	75	千歳橋	3.2	3.8	3.3	4.0	3.7	3.3
丹沢湖流入河川 (落合発電所放流水)	A	76	落合発電所	—	—	—	—	1.1	0.7
(玄倉川)		77	玄倉水位観測所	—	—	—	—	1.0	1.0
(河内川)		78	湖流入前	—	—	—	—	1.1	0.9
(世附川)		79	湖流入前	—	—	—	—	0.9	0.8

2 相模湖 (BOD)、津久井湖 (BOD)、芦ノ湖 (COD) 及び丹沢湖 (COD)

水域	類型	番号	測定地点	48-51年度 平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
相 模 湖	河 川 A	①	境川橋	2.5	1.5	1.6	1.8	1.5	2.0
		2	日連大橋	2.5	1.4	2.0	1.5	1.6	1.7
		3	湖央西部	2.4	2.1	2.2	1.7	1.6	1.8
		4	湖央東部	2.3	1.8	1.6	1.6	1.6	1.7
		5	相模湖大橋	2.6	1.8	2.1	2.2	1.5	2.3
津 久 井 湖	河 川 A	①	沼本ダム	1.8	1.4	2.1	1.5	1.6	1.4
		2	名手橋	2.1	2.1	2.2	1.7	1.6	2.4
		3	湖央部	2.1	1.4	2.2	1.6	1.4	1.5
		4	道志橋	3.5	2.8	2.8	2.7	2.5	3.9
芦 ノ 湖	湖 沼 AA	①	湖北中央部	1.8	1.5	2.1	2.5	1.7	2.5
		②	湖央部	1.8	1.8	2.0	2.6	1.5	1.8
		③	湖西部	1.8	1.7	2.3	2.5	1.6	1.9
		④	湖東部	1.8	1.7	2.3	2.3	1.8	1.9
丹 沢 湖	湖 沼 A	①	湖央部	-	-	-	-	1.1	1.4
		2	大仏大橋	-	-	-	-	1.1	1.4
		3	湖東部	-	-	-	-	1.2	1.5
		4	湖西部	-	-	-	-	1.5	1.9

3 東京湾 (C O D)

番号	測定地点	類型	47-51年度 平均	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度
1	多摩川河口先	N 35°32'06" E 139°46'23"	C	-	-	-	4.8	8.5
②	浮島沖	N 35°30'04" E 139°48'42"	B	2.4	3.2	3.0	4.1	2.9
③	千鳥町沖	N 35°28'50" E 139°47'56"	B	2.1	2.7	2.9	3.5	3.2
4	川崎航路	N 35°30'13" E 139°46'52"	C	-	-	-	3.4	4.6
⑤	京浜運河千鳥町	N 35°30'04" E 139°45'24"	C	2.4	2.6	3.1	5.0	4.1
⑥	川崎港防波堤沖	N 35°28'33" E 139°44'57"	C	2.0	3.6	2.3	3.4	4.0
⑦	京浜運河扇町	N 35°29'19" E 139°43'28"	C	2.3	3.8	3.5	4.9	3.9
⑧	扇島沖	N 35°27'27" E 139°45'05"	B	1.9	3.2	2.6	3.7	4.1
⑨	鶴見川河口先	N 35°28'22" E 139°41'19"	C	6.0	2.8	4.0	4.6	5.5
⑩	横浜港内	N 35°27'25" E 139°39'01"	C	4.9	3.0	4.0	3.5	4.1
⑪	中の瀬北	N 35°25'04" E 139°44'56"	A	4.0	3.3	2.5	3.1	3.5
⑫	本牧沖	N 35°24'00" E 139°41'28"	B	4.3	3.1	3.0	3.1	2.7
⑬	磯子沖	N 35°23'28" E 139°39'04"	C	4.1	1.9	3.1	3.0	3.7
⑭	中の瀬南	N 35°20'50" E 139°43'30"	A	3.7	2.2	2.7	2.8	2.7
⑮	富岡沖	N 35°22'00" E 139°45'40"	B	4.3	2.4	3.0	2.9	4.1
⑯	第三海堡東	N 35°16'56" E 139°45'40"	A	3.2	2.0	1.8	2.0	1.8
17	平潟湾沖	N 35°20'00" E 139°39'42"	B	※ 3.6	2.7	2.9	3.2	3.8
⑰	平潟湾内	N 35°19'28" E 139°37'48"	B	6.0	4.2	4.2	5.4	6.3
⑲	夏島沖	N 35°18'44" E 139°39'06"	C	4.5	1.8	3.0	3.0	3.6
⑳	大津湾	N 35°16'32" E 139°42'12"	B	3.6	2.9	2.1	2.8	2.9
㉑	浦賀港内	N 35°14'04" E 139°43'40"	B	3.2	2.4	1.7	2.1	2.6
㉒	浦賀沖	N 35°13'28" E 139°46'00"	A	2.7	1.8	1.5	1.9	2.0
㉓	久里浜港内	N 35°13'13" E 139°43'20"	B	3.5	2.6	2.0	2.1	2.6

注 ※: 49年度から51年度までの各年度の75%値の平均値

4 相模湾 (C O D)

番号	測定地點	類型	55年度	56年度
①	城ヶ島沖 N 35° 06' 48" E 139° 37' 48"	A	1.3	1.6
2	城ヶ島西 N 35° 07' 50" E 139° 36' 00"	A	1.3	1.2
③	小網代湾 N 35° 10' 00" E 139° 36' 00"	A	1.0	1.1
4	小田和湾 N 35° 12' 45" E 139° 36' 35"	A	1.9	1.4
5	葉山沖 N 35° 15' 18" E 139° 33' 48"	A	1.4	1.2
⑥	由比ヶ浜沖 N 35° 17' 00" E 139° 32' 48"	A	1.4	1.3
7	七里ヶ浜沖 N 35° 17' 24" E 139° 30' 24"	A	1.5	1.3
8	江ノ島西 N 35° 17' 54" E 139° 28' 33"	A	2.8	3.1
⑨	辻堂沖 N 35° 18' 12" E 139° 27' 04"	A	1.6	1.2
10	茅ヶ崎沖 N 35° 17' 54" E 139° 24' 00"	A	1.4	1.7
11	平塚沖 N 35° 18' 12" E 139° 21' 12"	A	2.0	1.5
⑫	大磯沖 N 35° 17' 24" E 139° 17' 24"	A	1.2	1.3
13	湾央東 N 35° 14' 36" E 139° 28' 33"	A	1.4	1.3
⑭	湾央 N 35° 14' 36" E 139° 22' 36"	A	1.2	1.1
15	湾央西 N 35° 14' 36" E 139° 16' 36"	A	1.4	1.3
16	国府津沖 N 35° 16' 08" E 139° 13' 44"	A	1.3	1.1
17	小田原沖 N 35° 14' 36" E 139° 11' 24"	A	1.7	1.1
⑯	根府川沖 N 35° 12' 24" E 139° 09' 48"	A	1.4	1.0
19	真鶴沖 N 35° 09' 31" E 139° 09' 48"	A	1.4	1.1
⑳	吉浜沖 N 35° 08' 26" E 139° 07' 56"	A	1.5	1.1

表3 生活環境項目類型別総括表(56年度)

項目 類型	水素イオン濃度 (pH)			生物化学的 酸素要求量 (BOD)			化学的 酸素要求量 (COD)			浮遊物質量 (SS)			
	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	
河川	A	912	14	1.5	912	305	33.4	(912)	—	—	912	101	11.1
	B	144	2	1.4	144	19	13.2	(144)	—	—	144	10	6.9
	C	660	0	0	696	497	71.4	(696)	—	—	660	71	10.8
	D	952	0	0	976	565	57.9	(976)	—	—	952	22	2.3
	E	960	4	04	976	448	45.9	(976)	—	—	960	0	0
	計	3,628	20	0.6	3,704	1,834	49.5	(3,704)	—	—	3,628	204	5.6
湖沼	AA (芦ノ湖)	48	1	2.1	(48)	—	—	48	44	91.7	48	25	52.1
	A (丹沢湖)	48	0	0	(48)	—	—	48	2	4.2	48	11	22.9
	河川A (相模湖)	60	7	11.7	60	15	25.0	(60)	—	—	60	0	0
	河川A (津久井湖)	45	7	15.6	45	11	24.4	(45)	—	—	45	4	8.9
	計	201	15	7.5	105 (201)	26	24.8	96 (201)	46	47.9	201	40	19.9
海域	A (相模湾)	240	74	30.8	—	—	—	240	15	6.3	—	—	—
	A (東京湾)	48	24	50.0	—	—	—	48	20	41.7	—	—	—
	B (東京湾)	120	39	32.5	—	—	—	120	49	40.8	—	—	—
	C (東京湾)	108	23	21.3	—	—	—	108	9	8.3	—	—	—
	小計 (東京湾)	276	86	31.2	—	—	—	276	78	28.3	—	—	—
	計	516	160	31.0	—	—	—	516	93	18.0	—	—	—
合計		4,435	195	4.5	3,809 (3,905)	1,860	48.8	612 (4,421)	139	22.7	3,829	244	6.4

注 1 n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検数 $\frac{m}{n} \times 100$: 環境基準値不適合率(%)

2 () 内の数字は、環境基準は定められていないが測定した検体数を示す。たゞし、合計欄の () 内の数字は、環境基準が定められている検体を含む総計である。

溶存酸素量 (D O)			大腸菌群数			n - ヘキサン抽出物質(油分等)			合 計		
n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$	n	m	$\frac{m}{n} \times 100$
912	150	16.4	804	707	87.9	(80)	—	—	4,452 (5,444)	1,277	28.7
144	1	0.7	72	60	83.3	(12)	—	—	648 (804)	92	14.2
660	142	21.5	(240)	—	—	(36)	—	—	2,676 (3,648)	710	26.5
952	31	3.3	(240)	—	—	(68)	—	—	3,832 (5,080)	618	16.1
958	62	6.5	(204)	—	—	(68)	—	—	3,854 (5,102)	514	13.3
3,626	386	10.6	876 (1,524)	767	87.6	(264)	—	—	15,462 (20,078)	3,211	20.8
48	12	25.0	48	31	64.6	(48)	—	—	240 (336)	113	47.1
48	3	6.3	48	1	2.1	(48)	—	—	240 (336)	17	7.1
60	7	11.7	60	26	43.3	(60)	—	—	300 (420)	55	18.3
45	2	4.4	45	8	17.8	(45)	—	—	225 (315)	32	14.2
201	24	11.9	201	66	32.8	(201)	—	—	1,005 (1,407)	217	21.6
240	75	31.3	240	29	12.1	240	2	0.8	1,200	195	16.3
48	15	31.3	48	3	6.3	48	3	6.3	240	65	27.1
120	2	1.7	(120)	—	—	120	9	7.5	480 (600)	99	20.6
108	0	0	(108)	—	—	(108)	—	—	324 (540)	32	9.9
276	17	6.2	48 (276)	3	6.3	168 (276)	12	7.1	1,044 (1,380)	196	18.8
516	92	17.8	288 (516)	32	11.1	408 (516)	14	3.4	2,244 (2,580)	391	17.4
4,343	502	11.6	1,365 (2,241)	865	63.4	408 (981)	14	3.4	18,711 (24,065)	3,819	20.4

表4 生活環境項目の環境基準値を超えた割合

水域	項目	年 度					
		n	51	52	53	54	55
河川	水素イオン濃度(pH)	3,506	3,512	3,500	3,510	3,704	3,628
	生物化学的酸素要求量(BOD)	3,504	3,512	3,487	3,509	3,704	3,704
	浮遊物質量(SS)	3,506	3,512	3,500	3,510	3,704	3,628
	溶存酸素量(DO)	3,504	3,510	3,500	3,510	3,704	3,628
	大腸菌群数	784	758	770	772	876	876
相模湖	水素イオン濃度(pH)	60	60	60	60	60	60
	生物化学的酸素要求量(BOD)	60	60	60	60	60	60
	浮遊物質量(SS)	60	60	60	60	60	60
	溶存酸素量(DO)	60	60	60	60	60	60
	大腸菌群数	60	60	60	60	60	60
津久井湖	水素イオン濃度(pH)	48	48	48	48	48	45
	生物化学的酸素要求量(BOD)	48	48	48	48	48	45
	浮遊物質量(SS)	48	48	48	48	48	45
	溶存酸素量(DO)	48	48	48	48	48	45
	大腸菌群数	48	48	48	48	48	45
芦ノ湖	水素イオン濃度(pH)	48	48	48	48	48	48
	化学的酸素要求量(COD)	48	48	48	48	48	48
	浮遊物質量(SS)	48	48	48	48	48	48
	溶存酸素量(DO)	48	48	48	48	48	48
	大腸菌群数	48	48	48	48	48	48
丹沢湖	水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—	48	48
	化学的酸素要求量(COD)	—	—	—	—	48	48
	浮遊物質量(SS)	—	—	—	—	48	48
	溶存酸素量(DO)	—	—	—	—	48	48
	大腸菌群数	—	—	—	—	48	48
東京湾	水素イオン濃度(pH)	252	251	250	252	276	276
	化学的酸素要求量(COD)	252	251	250	252	276	276
	溶存酸素量(DO)	252	251	250	252	276	276
	大腸菌群数	48	48	48	48	48	48
	n-ヘキサン抽出物質	168	167	166	168	168	168
相模湾	水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—	240	240
	化学的酸素要求量(COD)	—	—	—	—	240	240
	溶存酸素量(DO)	—	—	—	—	240	240
	大腸菌群数	—	—	—	—	240	240
	n-ヘキサン抽出物質	—	—	—	—	240	240

注 n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検体数

 $m/n \times 100$ 環境基準値不適合率(%)

m						$m/n \times 100$					
51	52	53	54	55	56	51	52	53	54	55	56
32	34	44	23	32	20	0.9	1.0	1.3	0.7	0.9	0.6
1,881	1,782	1,857	1,794	1,729	1,834	53.7	50.7	53.3	51.1	46.7	49.5
161	93	102	149	161	204	4.6	2.6	2.9	4.2	4.3	5.6
375	381	615	476	395	386	10.7	10.9	17.6	13.6	10.7	10.6
665	651	700	686	689	767	84.8	85.9	90.9	88.9	78.7	87.6
4	3	4	2	2	7	6.7	5.0	6.7	3.3	3.3	11.7
19	9	15	10	9	15	31.7	15.0	25.0	16.7	15.0	25.0
2	1	3	2	3	0	3.3	1.7	5.0	3.3	5.0	0
3	2	3	5	2	7	5.0	3.3	5.0	8.3	3.3	11.7
31	36	32	30	29	26	51.7	60.0	53.3	50.0	48.3	43.3
3	4	5	6	3	7	6.3	8.3	10.4	12.5	6.3	15.6
17	13	18	9	8	11	35.4	27.1	37.5	18.8	16.7	24.4
1	1	0	3	0	4	2.1	2.1	0	6.3	0	8.9
2	1	5	5	1	2	4.2	2.1	10.4	10.4	2.1	4.4
22	17	6	12	13	8	45.8	35.4	12.5	25.0	27.1	17.8
0	0	1	0	0	1	0	0	2.1	0	0	2.1
43	41	48	48	39	44	89.6	85.4	100	100	81.3	91.7
8	36	34	21	24	25	16.7	75.0	70.8	43.8	50.0	52.1
11	18	23	20	19	12	22.9	37.5	47.9	41.7	39.6	25.0
33	18	33	26	36	31	68.8	37.5	68.8	54.2	75.0	64.6
—	—	—	—	0	0	—	—	—	—	0	0
—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	2.1	4.2
—	—	—	—	2	11	—	—	—	—	4.2	22.9
—	—	—	—	2	3	—	—	—	—	4.2	6.3
—	—	—	—	0	1	—	—	—	—	0	21
24	47	65	26	93	86	9.5	18.7	26.0	10.3	33.7	31.2
17	45	49	62	61	78	6.7	17.9	19.6	24.6	22.1	28.3
14	16	22	22	14	17	5.6	6.4	8.8	8.7	5.1	6.2
5	2	3	3	1	3	10.4	4.2	6.3	6.3	2.1	6.3
0	27	23	12	19	12	0	16.2	13.9	7.1	11.3	7.1
—	—	—	—	41	74	—	—	—	—	17.1	30.8
—	—	—	—	16	15	—	—	—	—	6.7	6.3
—	—	—	—	97	75	—	—	—	—	40.4	31.3
—	—	—	—	24	29	—	—	—	—	10.0	12.1
—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	0.8	0.8

表5 健康項目の環境基準値を超えた割合

		n					
		51	52	53	54	55	56
河川	カドミウム	1,722	1,726	1,725	1,727	1,807	1,808
	シン	1,722	1,726	1,725	1,727	1,808	1,808
	有機燐	74	74	74	74	84	82
	鉛	1,722	1,725	1,725	1,726	1,807	1,808
	クロム(6価)	1,722	1,726	1,725	1,727	1,807	1,808
	ヒ素	1,722	1,726	1,725	1,727	1,807	1,808
	総水銀	1,722	1,726	1,725	1,727	1,847	1,848
	アルキル水銀	50	52	52	52	62	62
	PCB	60	66	65	66	76	76
	計	10,516	10,547	10,541	10,553	11,105	11,108
(芦相ノ模湖湖・丹津久沢井湖湖)	カドミウム	26	26	26	26	34	33
	シン	26	26	26	26	34	33
	有機燐	26	26	26	26	34	33
	鉛	26	26	26	26	34	33
	クロム(6価)	26	26	26	26	34	33
	ヒ素	26	26	26	26	34	33
	総水銀	26	26	156	156	204	201
	アルキル水銀	26	26	26	26	34	33
	PCB	26	26	26	26	34	33
	計	234	234	364	364	476	465
(東相京模湾)	カドミウム	252	251	250	252	516	516
	シン	252	251	250	252	516	516
	有機燐	42	41	42	42	86	86
	鉛	252	251	250	252	516	516
	クロム(6価)	252	251	250	252	516	516
	ヒ素	252	251	250	252	516	516
	総水銀	252	251	250	252	516	516
	アルキル水銀	42	41	42	42	86	86
	PCB	37	41	42	42	86	86
	計	1,633	1,629	1,626	1,638	3,354	3,354

注1 n : 調査検体数 m : 環境基準値を超えた検体数

 $m/n \times 100$: 環境基準値不適合率 (%)

2 総水銀欄の()内の数字は、0.0005 mg/lを超えた検体数を示す。

表6 BOD(COD)の環境基準達成状況表(56年度)

(1) 河 川

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	基 準 を 満 足 す る 地 点 数	基 準 を 満 足 し て い な い 地 点 数				達成 状況
							合計	$\frac{x}{100} \geq y\%$	$100 > \frac{x}{y} \geq 50$	$50 > \frac{x}{y} > 25$	
1	*多摩川下流	D	ハ	45	1	1					○
2	* " 中流	C	ハ	45	2		2		2		×
3	鶴見川下流	E	ハ	45	2	1	1		1		×
4	* " 上流	D	ハ	45	1		1	1			×
5	相模川中流	A	ロ	45	1	1					○
6	下山川	E	ロ	46	1	1					○
7	田越川	E	ハ	46	1	1					○
8	滑川	E	ハ	46	1	1					○
9	神戸川	E	ハ	46	1		1		1		×
10	*境川	D	ハ	46	1		1		1		×
11	引地川	D	ハ	46	1		1			1	×
12	金目川下流	C	ハ	46	1		1		1		×
13	" 上流	A	ハ	46	1		1	1			×
14	葛川	C	ハ	46	1		1	1			×
15	中村川	C	ハ	46	1		1		1		×
16	森戸川(小田原市)	D	ハ	46	1		1			1	×
17	酒匂川上流	A	ロ	46	1	1					○
18	山王川	E	ハ	46	1	1					○
19	早川	A	ハ	46	1	1					○
20	新崎川	B	ハ	46	1	1					○
21	千歳川	B	ハ	46	1		1			1	×

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成期間	指定年度	環 境 基 準 地 点 数	基 準 を 満 足 す る 地 点 数	基 準 を 満 足 し て い な い 地 点 数				達成 状況
							合計	$\frac{x}{y} \times 100\%$	$100 \geq \frac{x}{y}$	$50 > \frac{x}{y} > 25$	
22	入江川	E	ハ	46	1		1	1			×
23	帷子川	E	ハ	46	1		1		1		×
24	大岡川	E	ハ	46	1		1		×	/	×
25	宮川	E	ハ	46	1		1		1		×
26	侍従川	E	ハ	46	1		1			1	×
27	鷹取川	E	ハ	46	1		1	1			×
28	平作川	E	ハ	46	1		1			1	×
29	森戸川(葉山町)	E	ハ	46	1		1			1	×
30	相模川下流	C	イ	47	1	1					○
31	*相模川上流(2) (相模湖)	A	ハ	47	1	1					○
32	" ⁽³⁾ (津久井湖)	A	イ	47	1	1					○
33	松越川	E	ハ	55	1		1		1		×
34	酒匂川下流	B	イ	55	1	1					○

注1 環境基準の達成水域の判定について

- (1) 環境基準が達成されているか否かの判定は、環境基準点における75% 値が基準値以下であるものを達成地点とした。
- (2) 1水域において複数の環境基準点を有する場合は、全ての環境基準点において基準が達成されている場合のみ達成水域とした。

2 * : 県際水域

3 x : 環境基準に適合しない日数

y : 総測定日数

4 ○ : 環境基準達成

× : 環境基準未達成

5 県際水域についての環境基準達成状況は、本県の環境基準点のみで判定した。

(以下同じ。)

(1) 湖 沼

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	基 準 を 満 足 す る 地 点 数	基 準 を 満 足 し て い な い 地 点 数				達成 状況
							合計	$\frac{x/y}{100} \%$	$100 \geq 50$	$50 > 25$	
1	芦 ノ 湖	AA	ハ	47	4		4	1	3		×
2	丹 泽 湖	A	イ	54	1	1					○

(2) 海 域

番号	環境基準類型 あてはめ 水 域 名	類型	達成 期間	指定 年度	環 境 基 準 地 点 数	基 準 を 満 足 す る 地 点 数	基 準 を 満 足 し て い な い 地 点 数				達成 状況
							合計	$\frac{x/y}{100} \%$	$100 \geq 50$	$50 > 25$	
1	東京湾(6)	C	イ	46	5	5					○
2	" (7)	C	イ	46	1	1					○
3	" (8)	C	イ	46	1	1					○
4	* " (9)	B	ハ	46	1		1		1		×
5	" (10)	B	ロ	46	1		1		1		×
6	* " (12)	B	イ	46	4		4		2	2	×
7	" (13)	B	ロ	46	1	1					○
8	" (14)	B	ロ	46	1	1					○
9	" (15)	B	ロ	46	1	1					○
10	* " (16)	A	ロ	46	2		2		1	1	×
11	* " (17)	A	イ	46	2	1	1		X	/	×
12	相模湾(1)	A	ハ	54	1	1					○
13	" (2)	A	イ	54	7	7					○